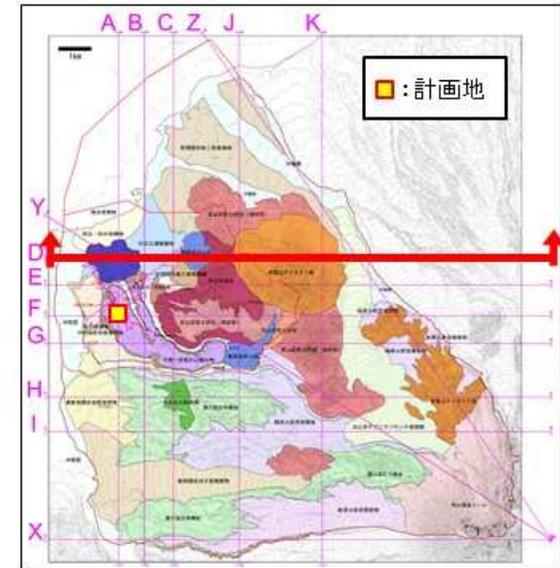
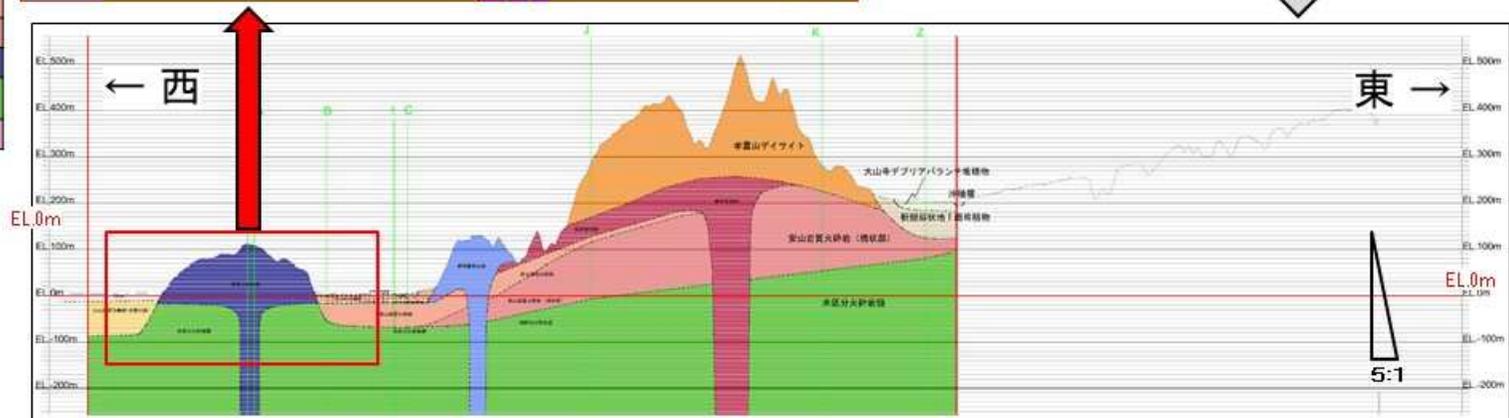
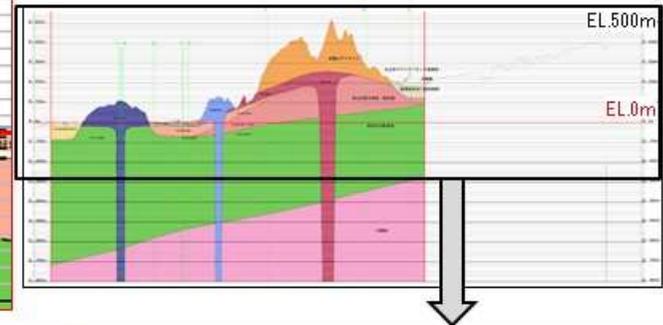
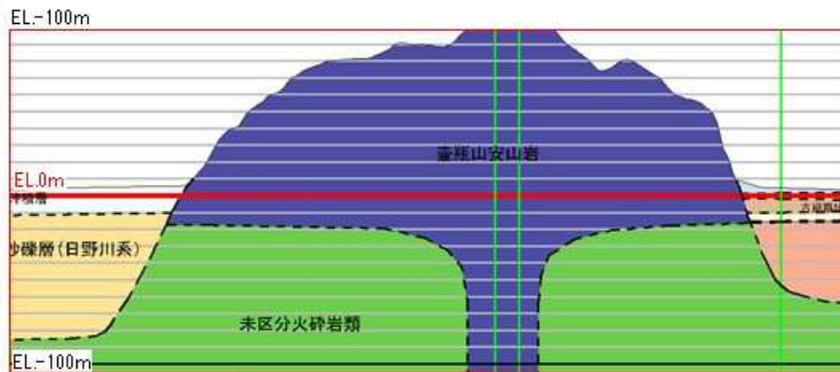


# 地質断面図 断面D

壺瓶山と福井水源地を通る、東西方向の地質断面図です。

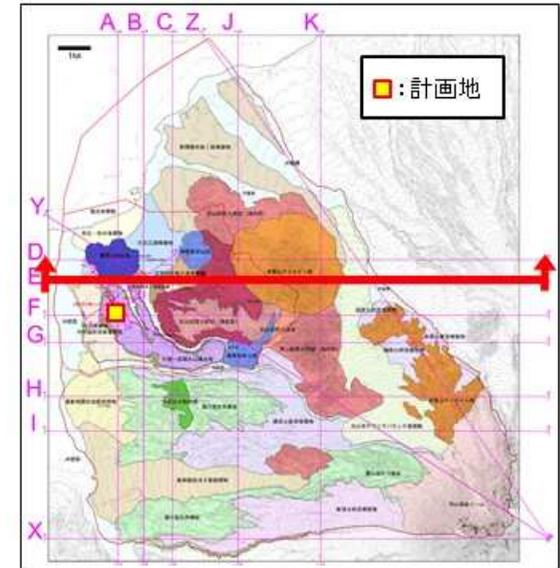


地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧定江掛堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地堆積物		
	新第四紀	段丘堆積物	
		大山寺デブリアバランチ堆積物	
		弥山溶岩ドーム	
		新期火砕流堆積物	
		新期扇状地Ⅱ面堆積物	
新期扇状地Ⅰ面堆積物			
横原火砕流堆積物			
火山灰質砂礫層(日野川系)			
中期扇状地堆積物			
古期塩川埋積堆積物			
中期	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝霊山デイサイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	無斑晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
前期	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
古第三紀	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		

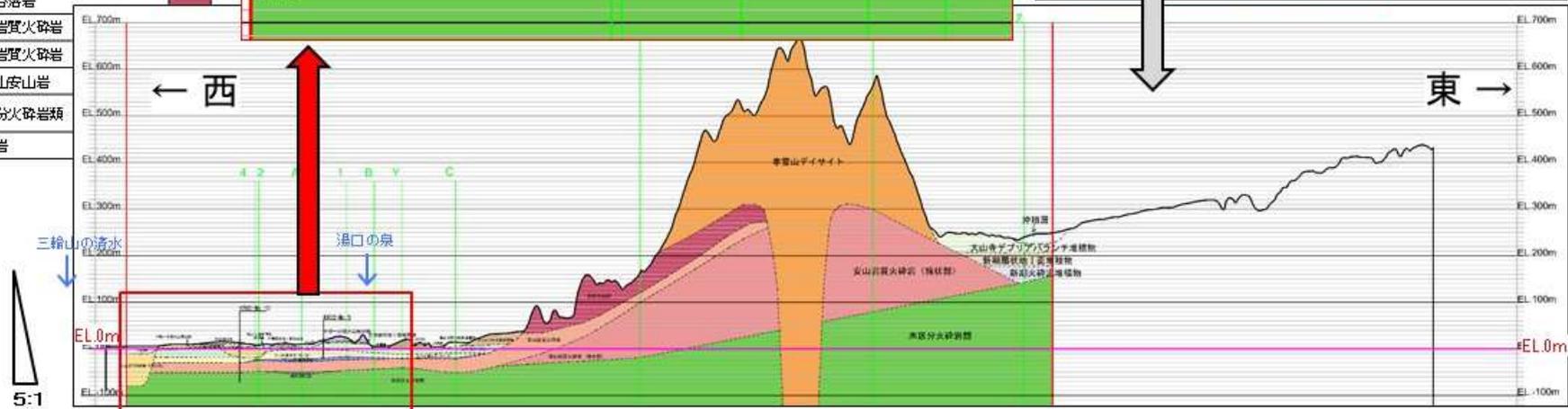
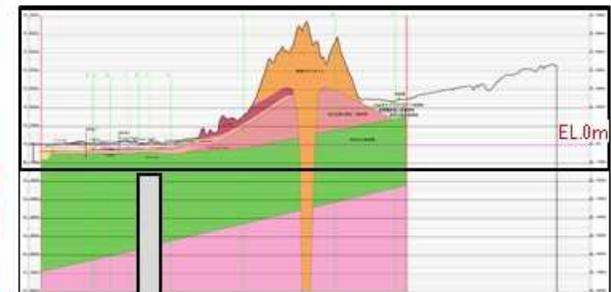
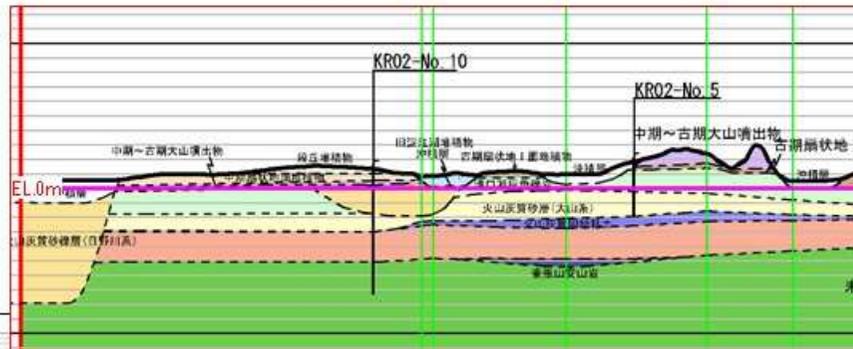


# 地質断面図 断面E

三輪山の清水(壺瓶山南側)を通る、東西方向の地質断面図です。

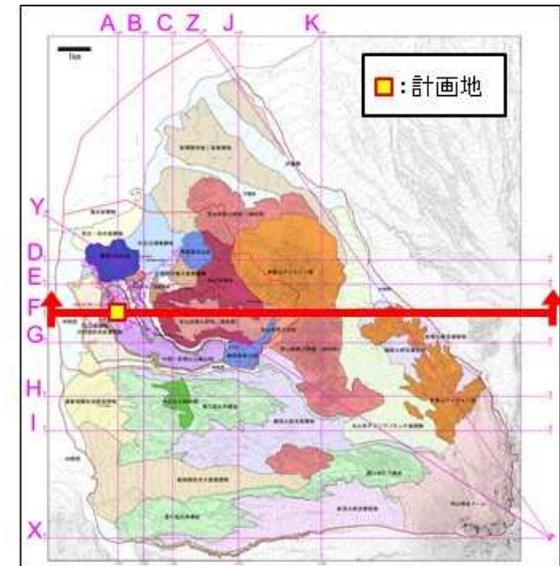


地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀川湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺テプリアバラチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
第四紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期火山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無結晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩	
	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩

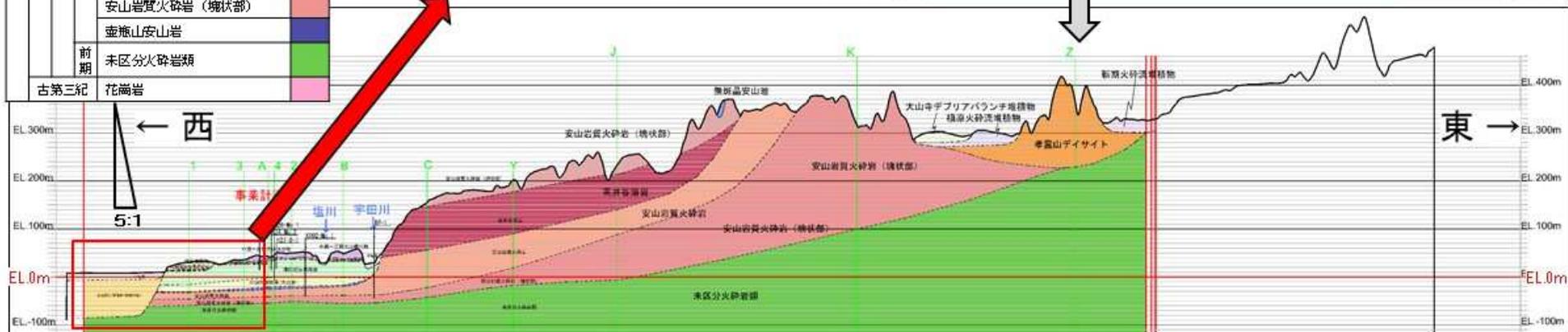
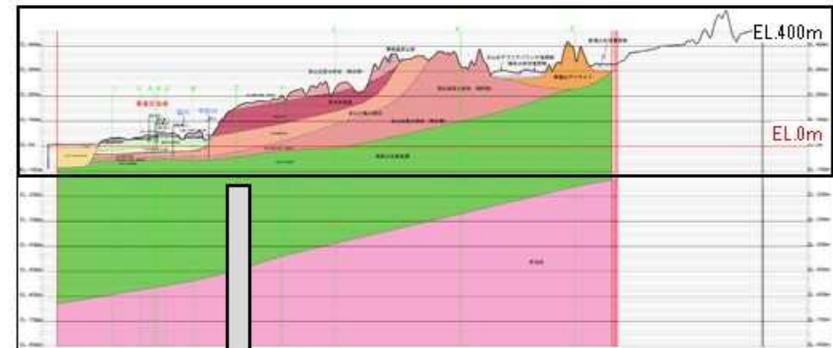
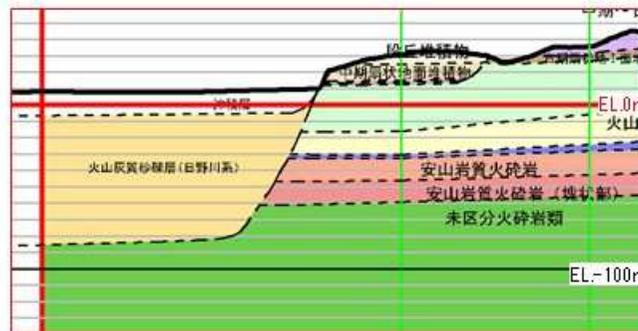


# 地質断面図 断面F

計画地を通る、東西方向の地質断面図です。



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺テリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	板原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層 (日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期増川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層 (大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	中期	無斑晶安山岩
安山岩質火砕岩 (塊状部)		
高井谷溶岩		
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩 (塊状部)		
壺瓶山安山岩		
未区分火砕岩類		
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

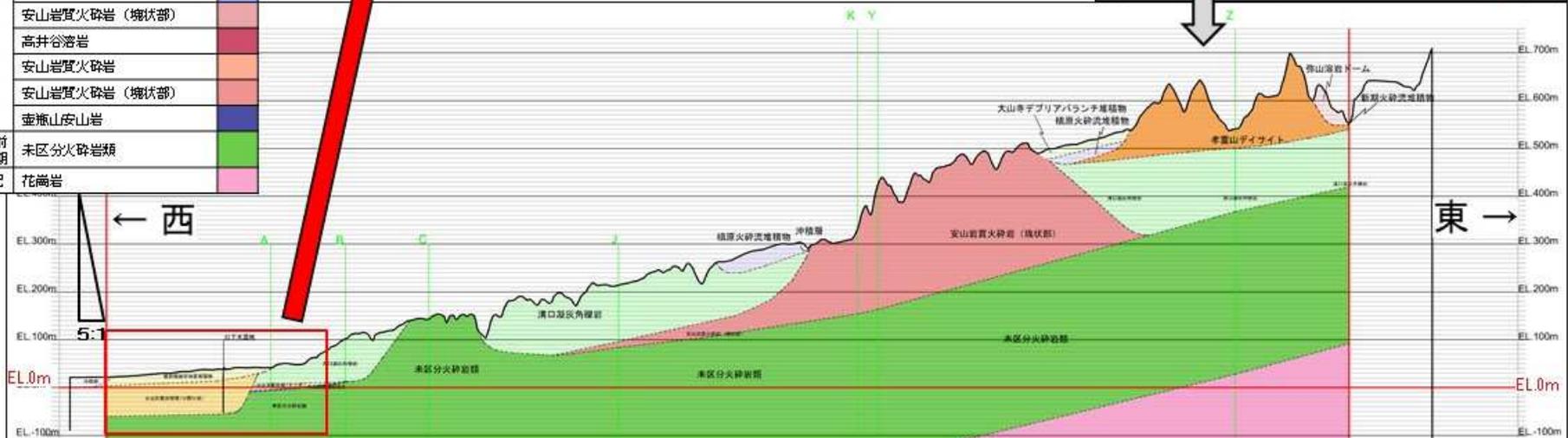
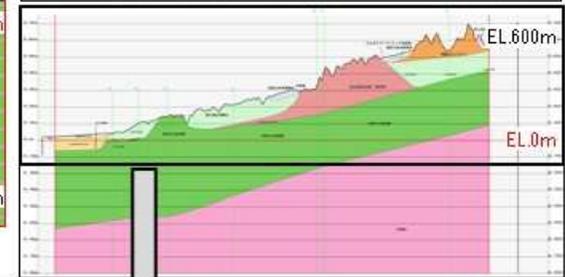
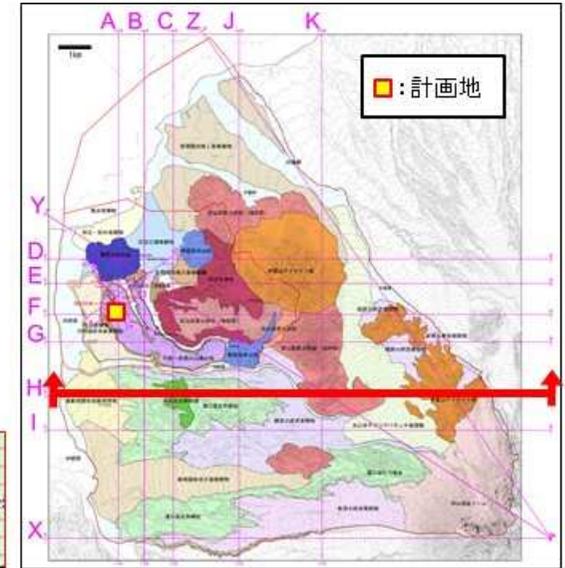
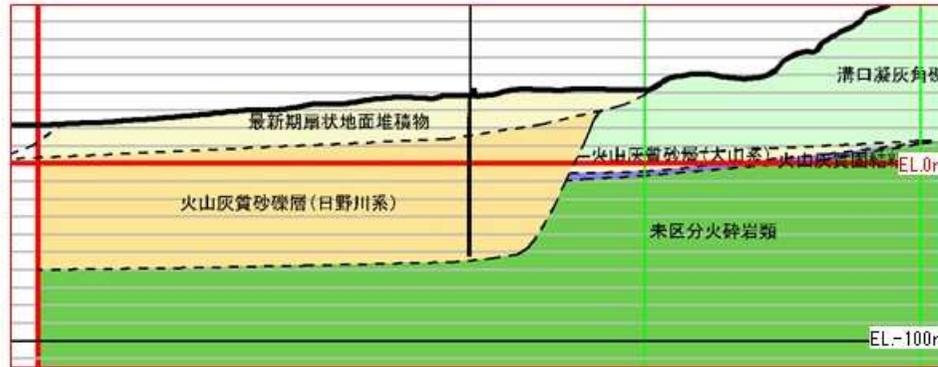




# 地質断面図 断面H

精進川の南側を通る、東西方向の地質断面図です。

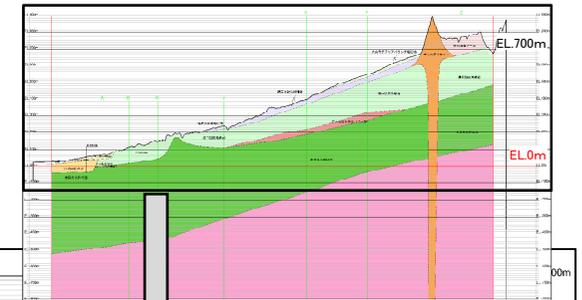
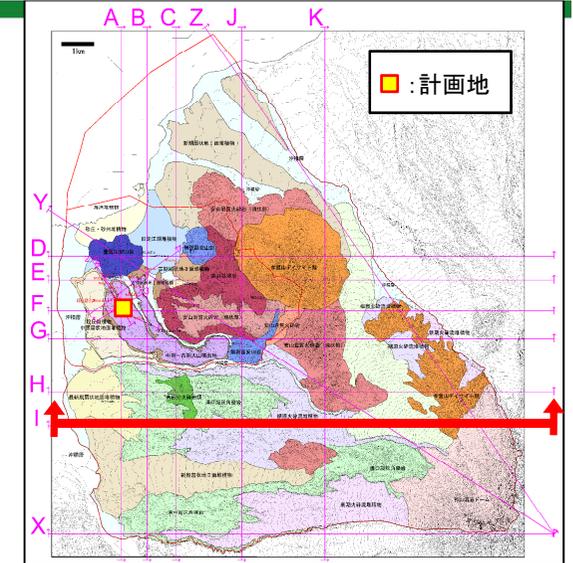
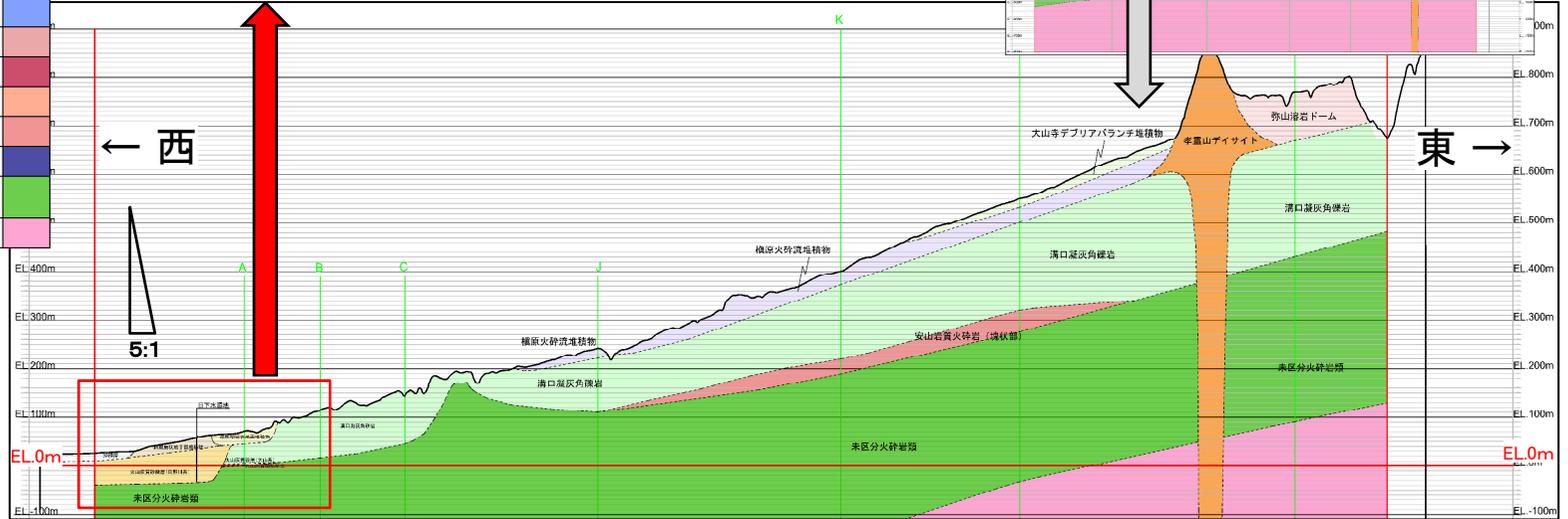
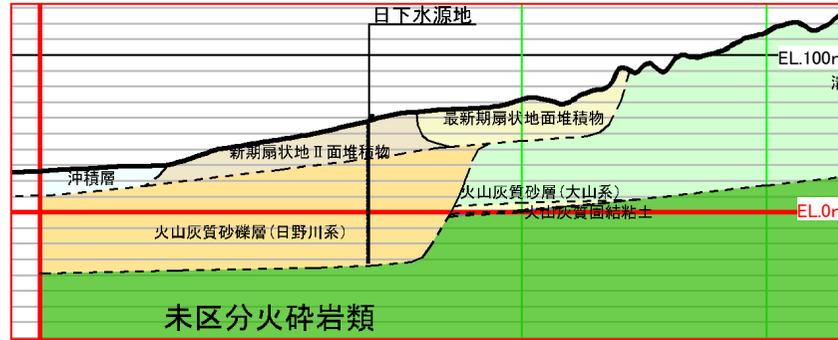
地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランス堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期~古期丸山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



# 地質断面図 断面I

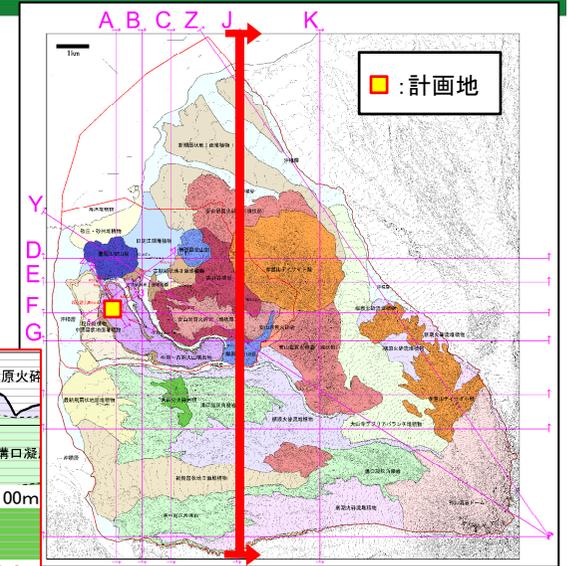
精進川の南側で、断面Hよりさらに南側を通る、東西方向の地質断面図です。

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺テプリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層（日野川系）	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
第四紀	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層（大山系）	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩（塊状部）	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
中期	安山岩質火砕岩（塊状部）	
	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

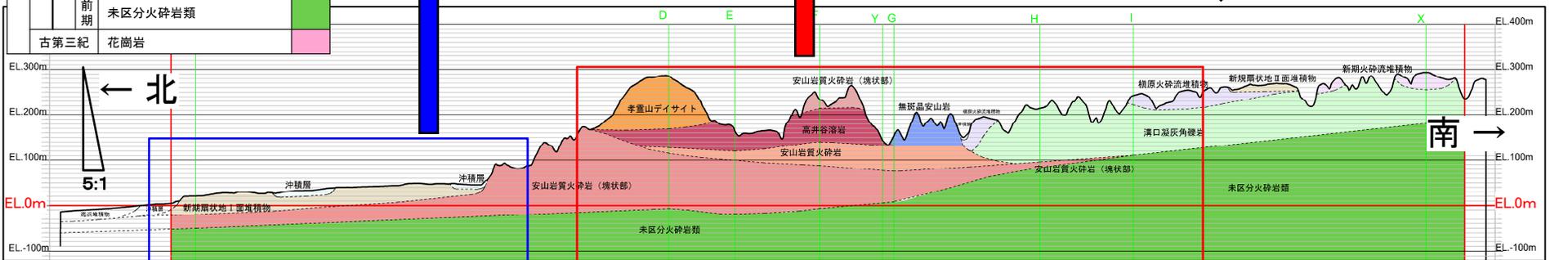
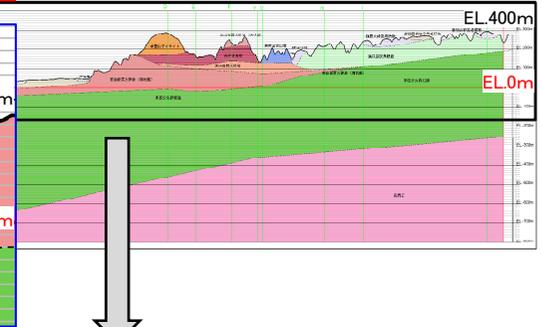
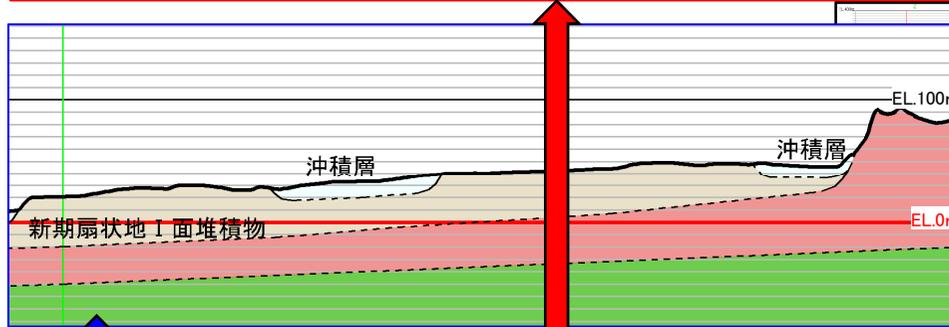
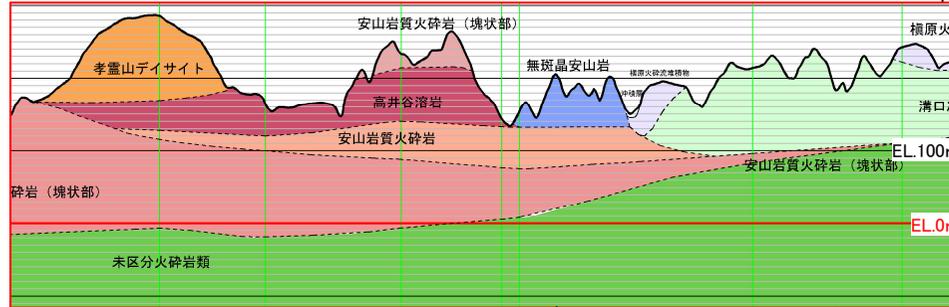


# 地質断面図 断面J

本宮の泉の東側を通る、南北方向の地質断面図です。

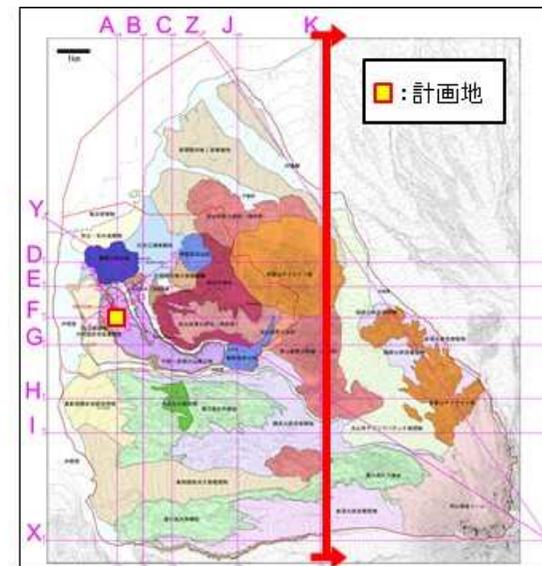


地質時代	地層名	色	
第四紀	海浜堆積物		
	沖積層		
	完新世	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地堆積物		
	段丘堆積物		
	大山寺テプリアランテ堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	横原火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層(日野川系)		
	中期扇状地堆積物		
中生代	古期塩川埋積堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝霊山デイサイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	無斑晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		

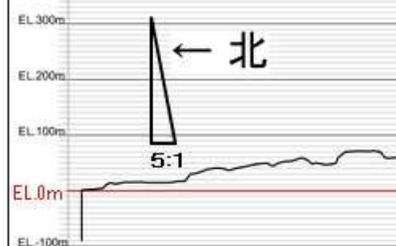
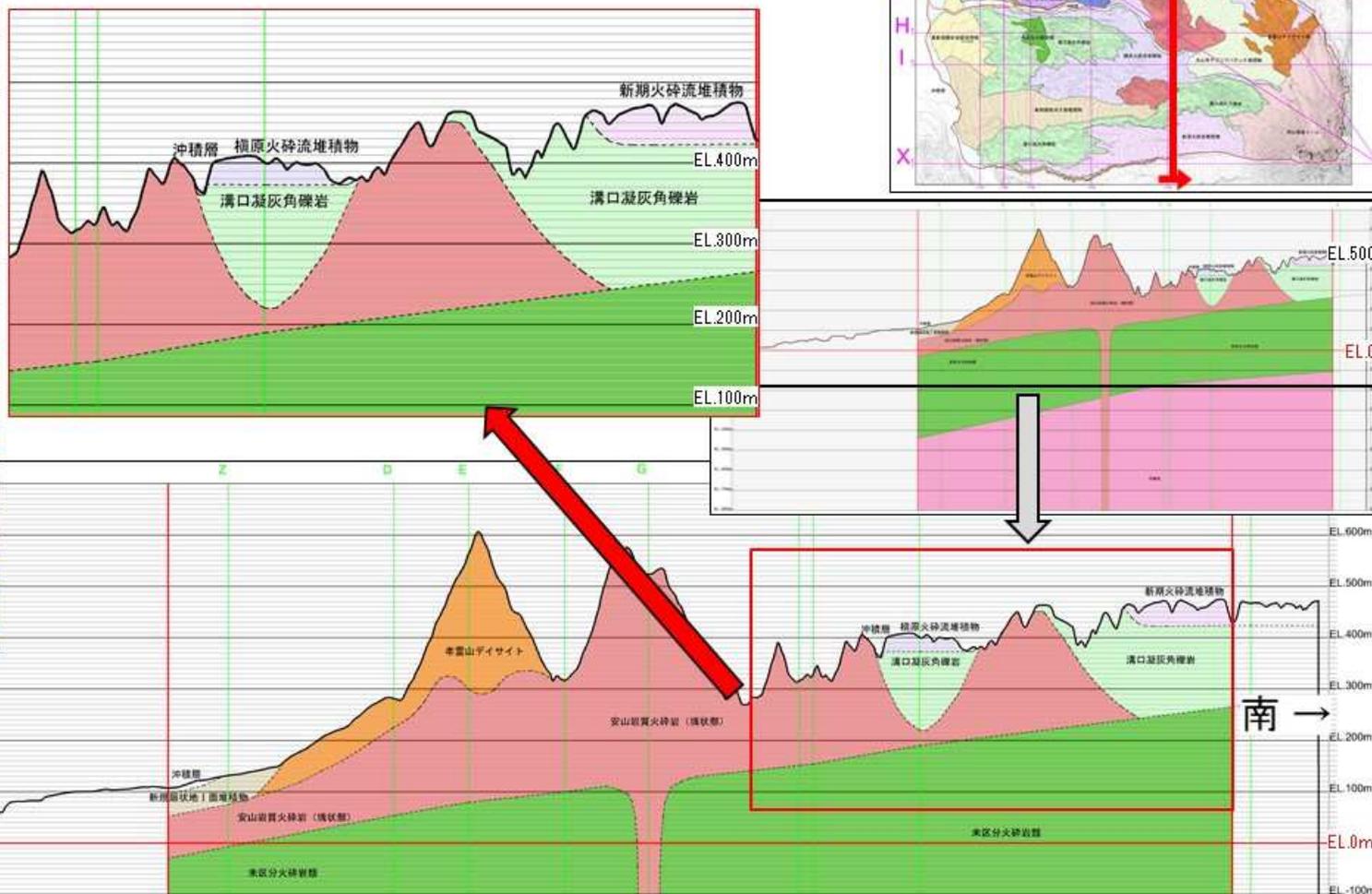


# 地質断面図 断面K

孝霊山の東側を通る、南北方向の地質断面図です。



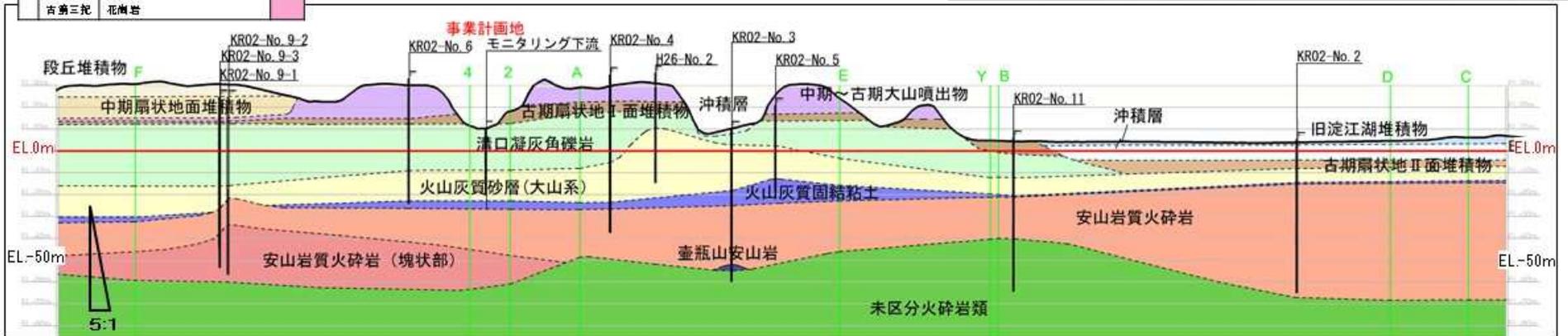
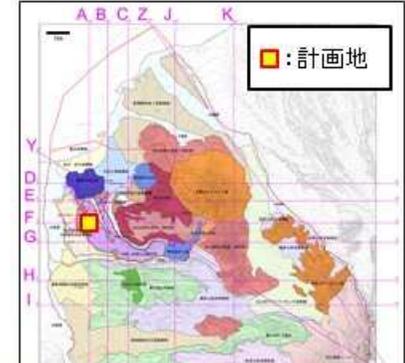
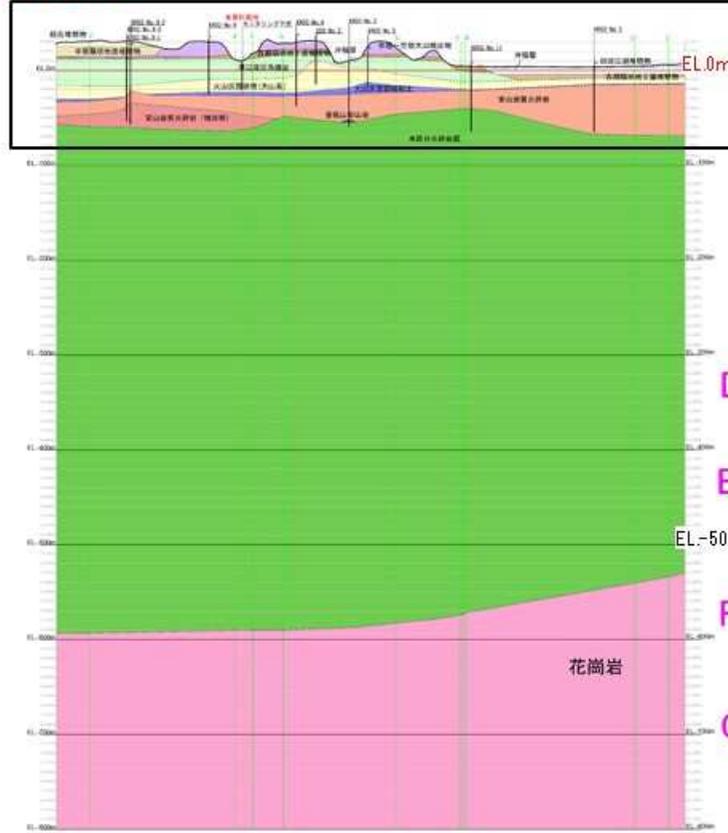
地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺テプリアランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
第四紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	檜原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(臼野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期火山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無錐晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
前期	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



# 地質断面図

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
新第四紀	段丘堆積物	
	大山キデブリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	撫厚火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層（日野川系）	
	中期扇状地面堆積物	
	古期堀川堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝靈山デイサイト層	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層（大山系）	
	火山灰質固結粘土層	
	新期過安山岩	
	安山岩質火砕岩（塊状部）	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩（塊状部）		
壺瓶山安山岩		
前新期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩

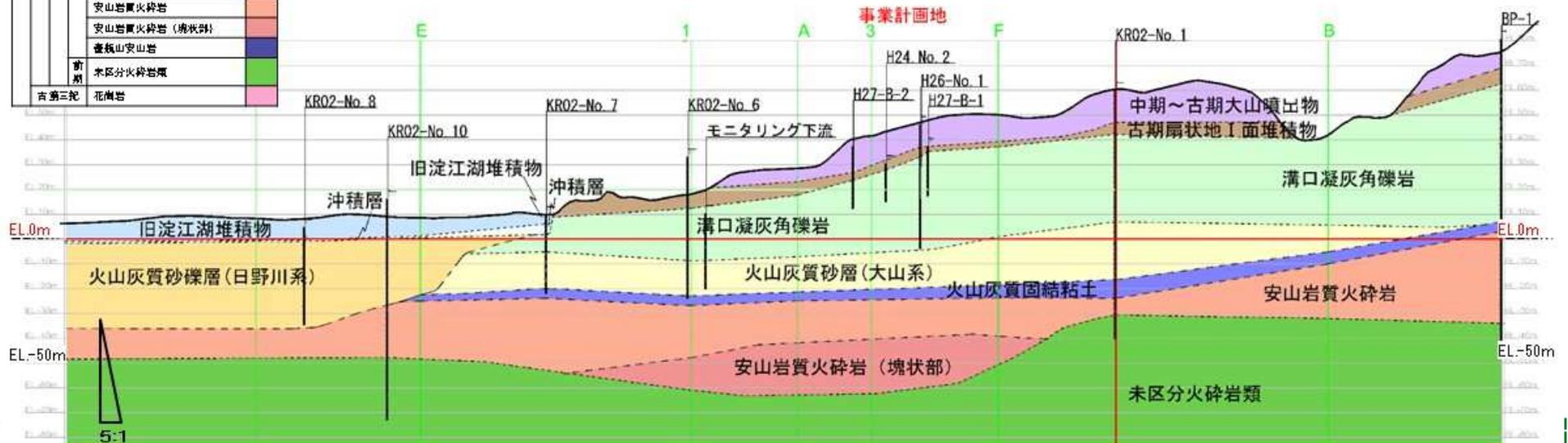
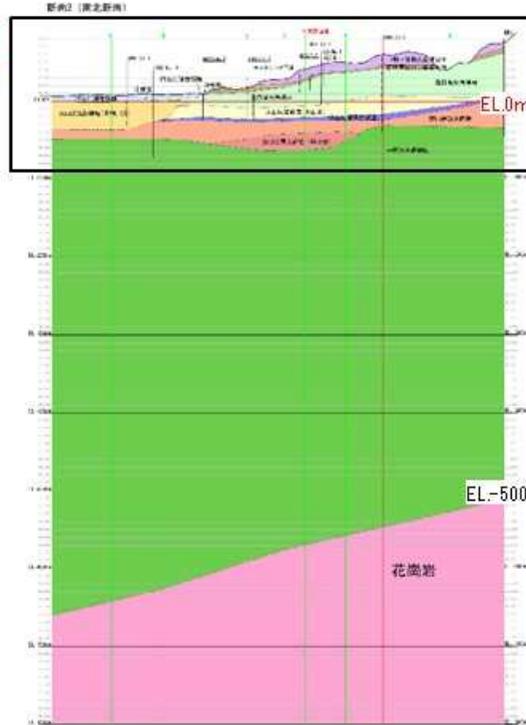
**断面1** 計画地の下流側を通る、東西方向の地質断面図です。



# 地質断面図

## 断面2

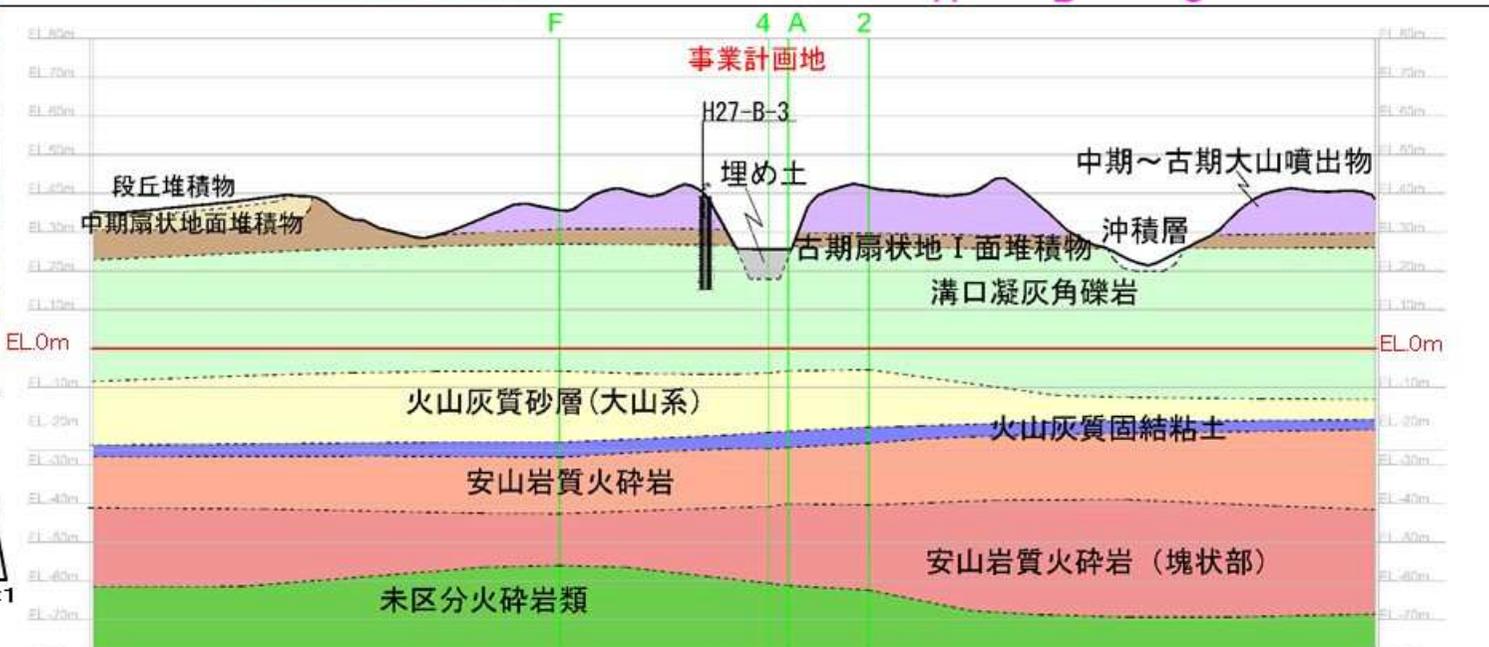
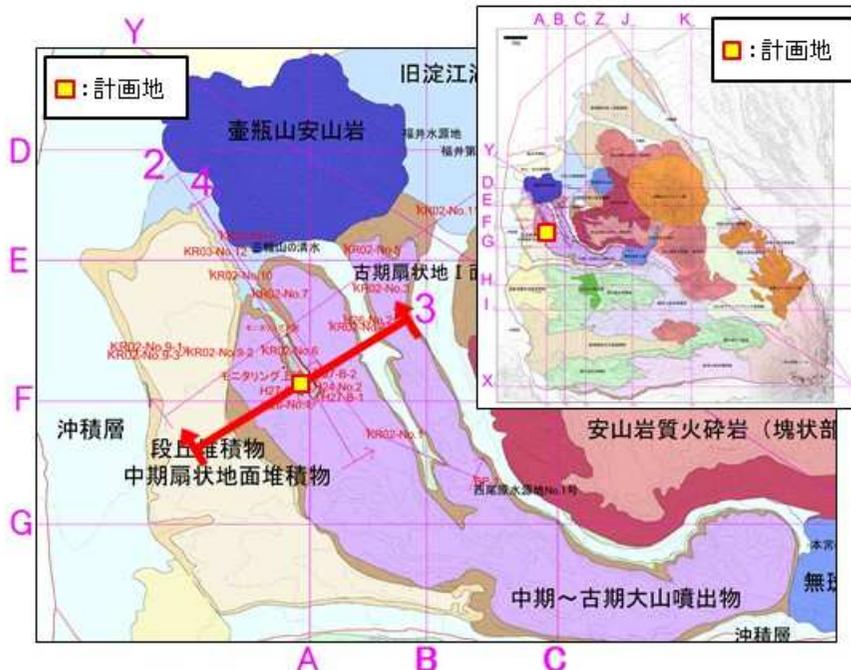
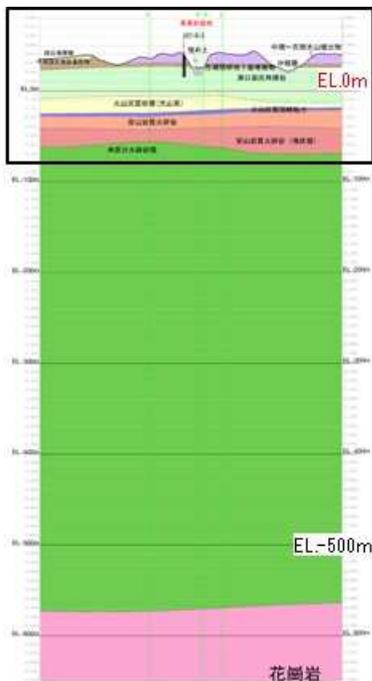
地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新扇状地前堆積物		
	段丘堆積物		
	大山寺デブリアバラランチ堆積物		
	弥生層		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
中世	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	複層火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層(日野川系)		
	中期扇状地前堆積物		
	吉野川埋積堆積物		
	中期～吉野川噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝靈山デブサイト帯		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	栗原層安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
	新期	未区分火砕岩類	
		花崗岩	
古第三紀			



# 地質断面図

## 断面3

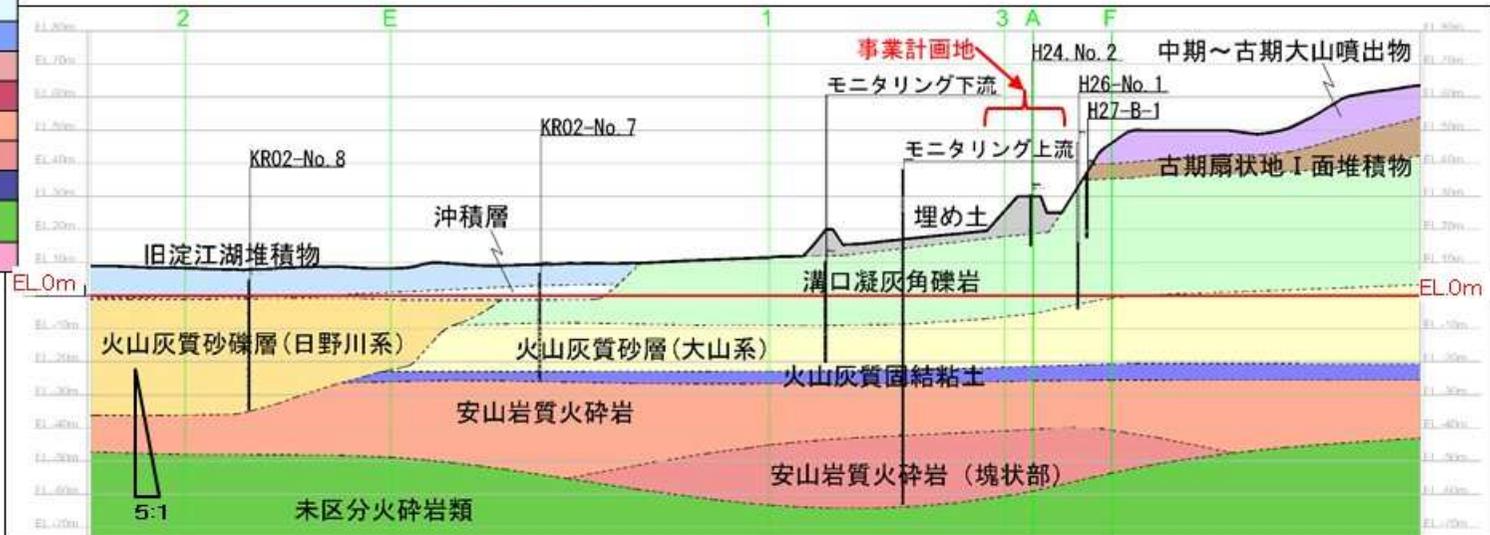
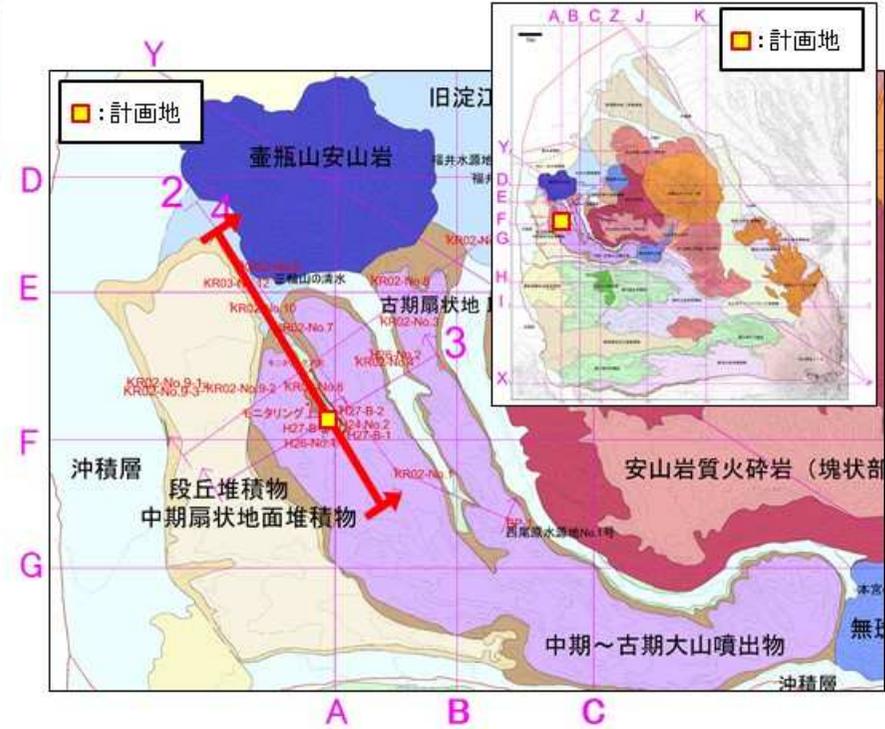
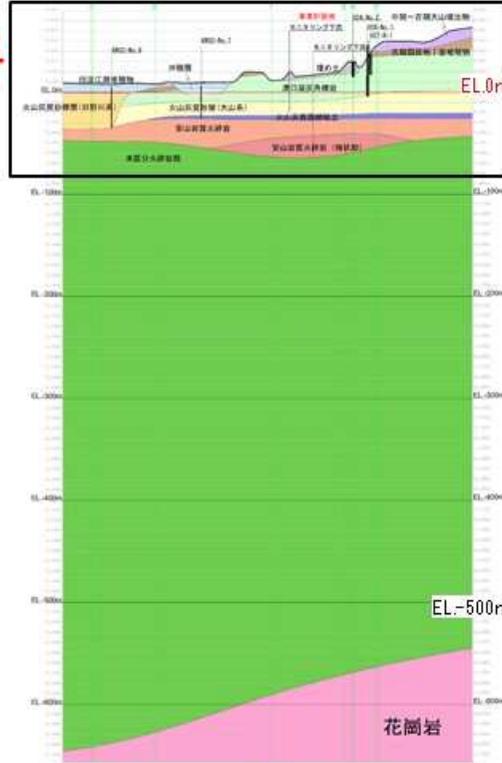
地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
第四紀	段丘堆積物		
	大山寺デブリアバランス堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	板原火砕流堆積物		
	火山灰質砂層(日野川系)		
	中期扇状地面堆積物		
	古期扇川埋積堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝霊山デイサイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	中期	無斑晶安山岩	
		安山岩質火砕岩(塊状部)	
		高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩			
安山岩質火砕岩(塊状部)			
前期	壺瓶山安山岩		
	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		



# 地質断面図

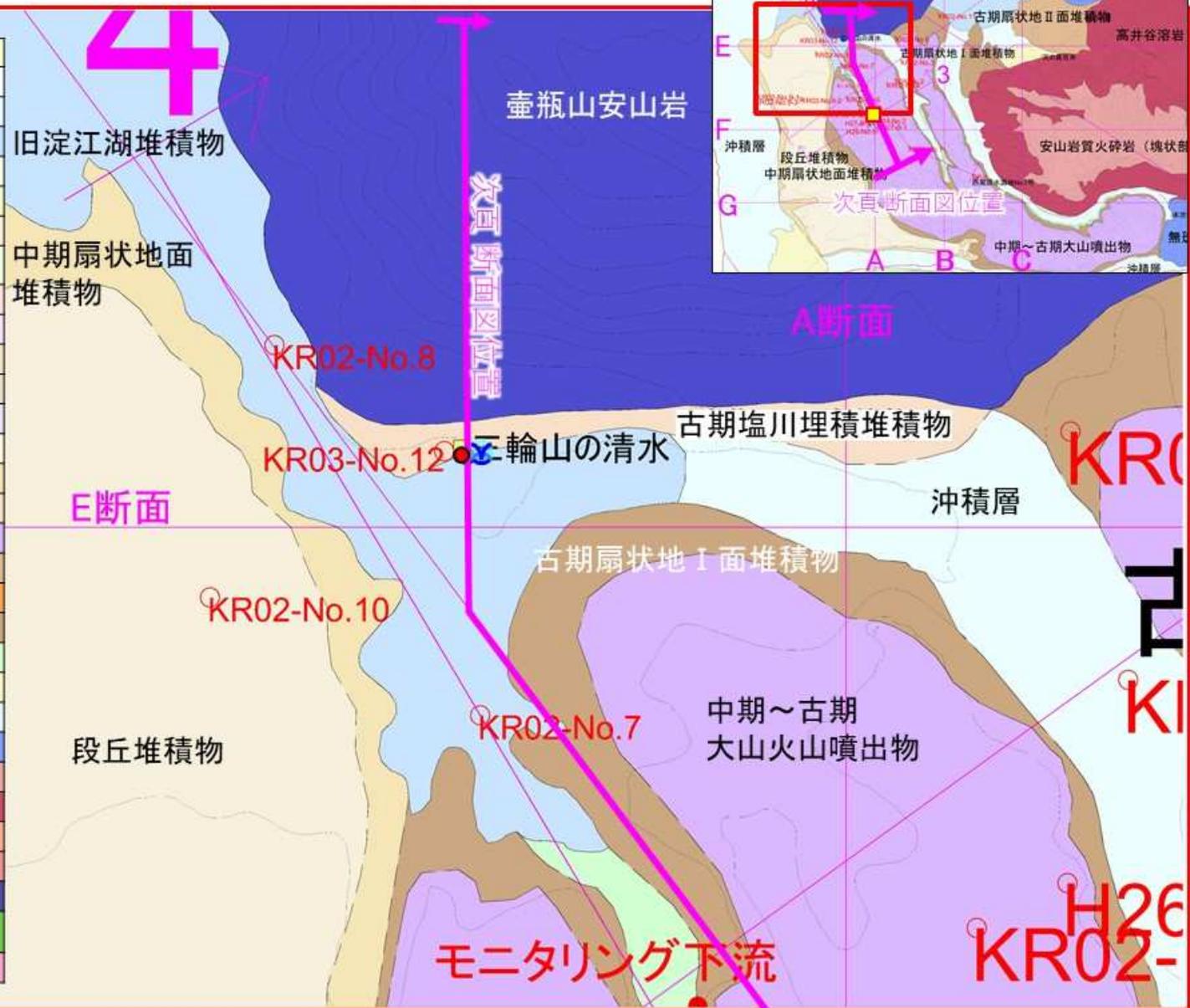
## 断面4

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺テリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	板原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期堀川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	壺瓶山安山岩	
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

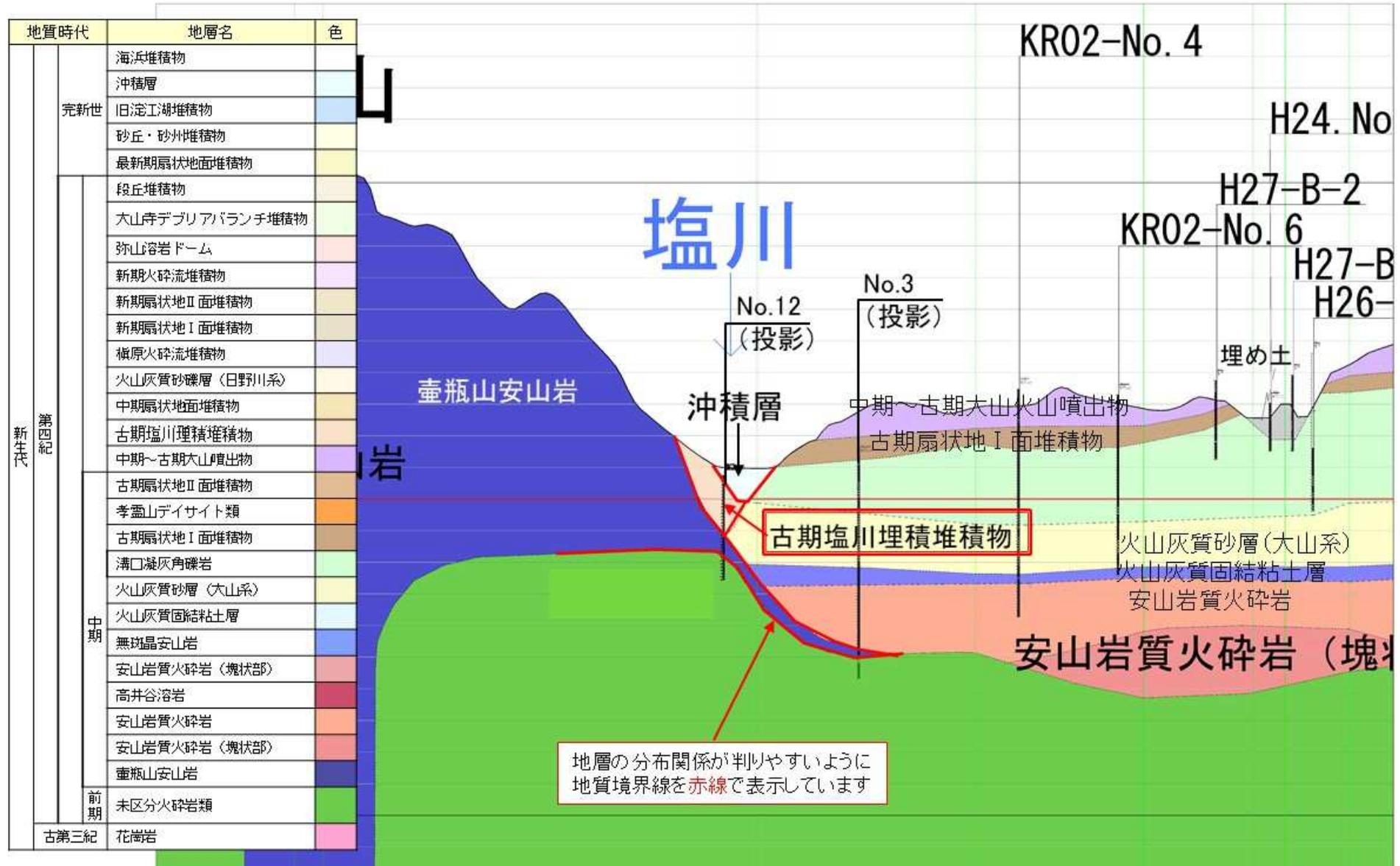


# 地質平面図(三輪山の清水付近 拡大図)

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地II面堆積物	
	新期扇状地I面堆積物	
	旗原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期~古期大山噴出物	
	古期扇状地II面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地I面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
	花崗岩	



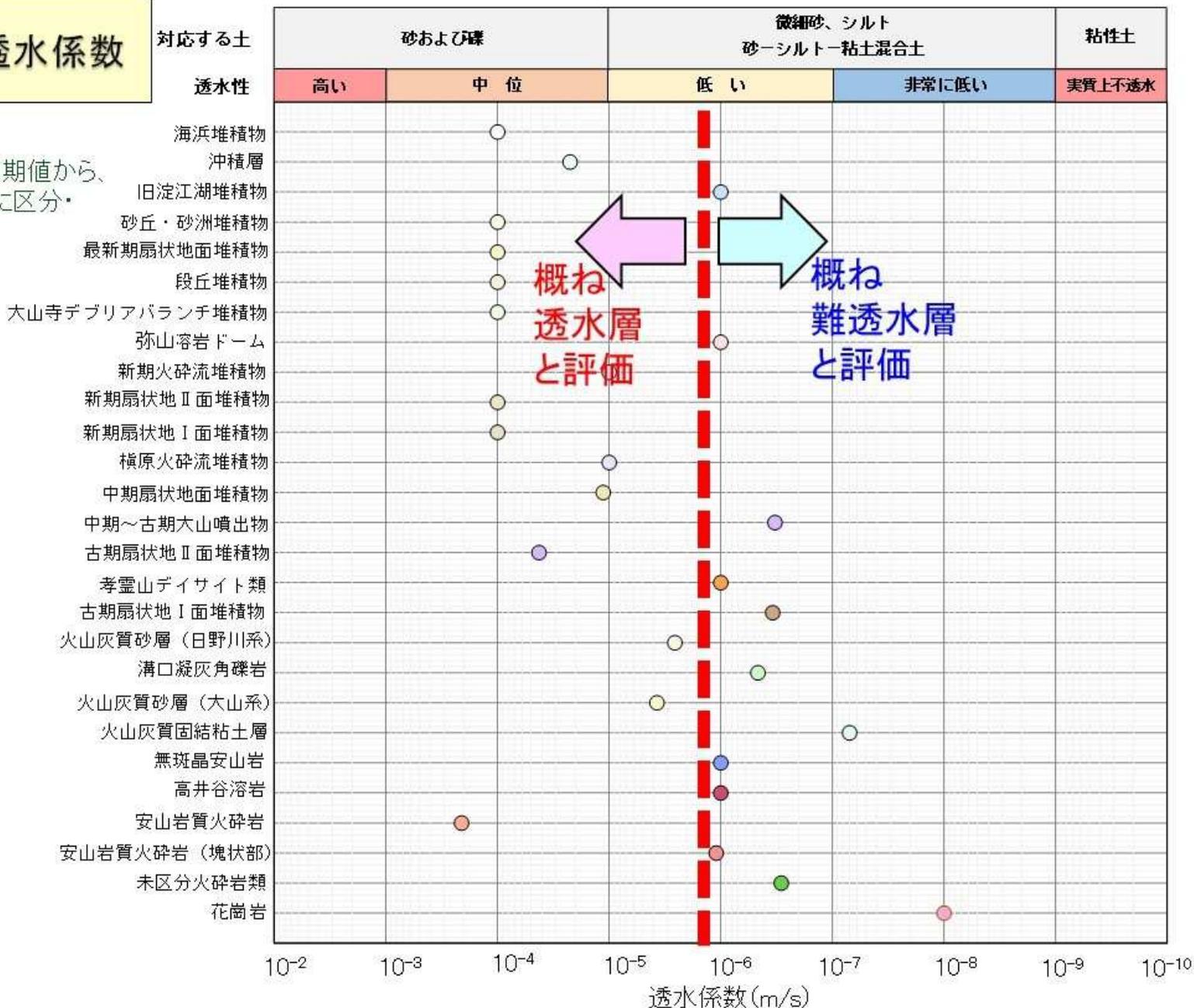
# 地質断面図(三輪山の清水付近 拡大図)





# 帯水層区分・透水係数

各地層の透水係数の初期値から、概ね透水層・難透水層に区分・評価しました。



# 地質層序対比図・帯水層区分対比図

## 地質層序対比図(南北断面)



【地質区分】

- 旧淀江湖堆積物
- 沖積層
- 段丘堆積物
- 中期扇状地堆積物
- 中期～古期火山噴出物+表土 (DMP, DTP, 未区分火砕岩等)
- 古扇状地I面堆積物
- 溝口凝灰角礫岩
- 火山灰質砂層(大山系)
- 火山灰質砂層(白野川系)
- 火山灰質固結粘土層
- 安山岩質火砕岩(塊状部)
- 安山岩質火砕岩(未区分火砕岩類)

【帯水層区分】

- 第0帯水層 (中期扇状地堆積物)
- 第1帯水層 (中期～古期火山噴出物, 古扇状地I面堆積物)
- 第2帯水層 (火山灰質砂層(大山系))
- 第3帯水層 (安山岩質火砕岩)

【透水係数】

- 1 × 10<sup>-3</sup> m/s
- 1 × 10<sup>-4</sup> m/s
- 1 × 10<sup>-5</sup> m/s
- 1 × 10<sup>-6</sup> m/s
- 1 × 10<sup>-7</sup> ~ 9m/s (テフラ分析)

【地下水】

- 第1帯水層
- 第2帯水層
- 第3帯水層

【観測井戸】

- 観測井戸
- 試料採取箇所
- 集水井 (ストレーナ) 位置

※H27-B-2, H24No. 2, R1-B-○の地下水位は実測値ではありません。

## 帯水層区分対比図(南北断面)

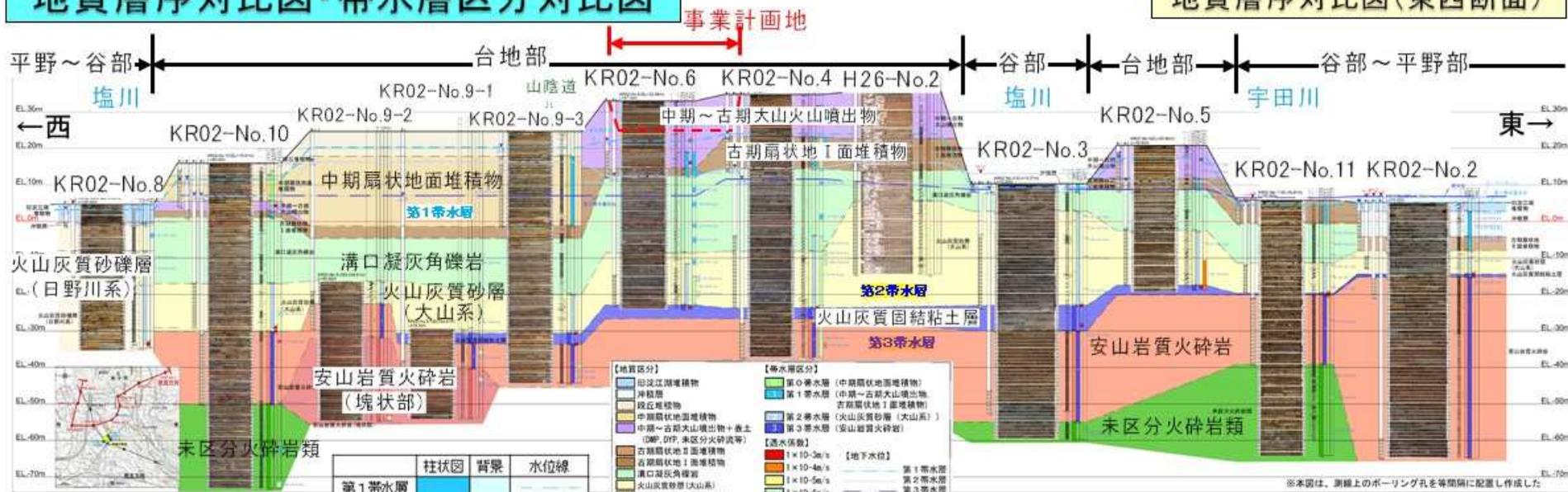


	柱状図	背景	水位線
第1帯水層	[Blue]	[Light Blue]	[Dashed Line]
第2帯水層	[Light Blue]	[Light Blue]	[Dashed Line]
第3帯水層	[Light Blue]	[Light Blue]	[Dashed Line]
難透水層	[Grey]	[Grey]	[Dashed Line]

計画地周辺の各地層を透水層・難透水層に区分した結果、第1～第3帯水層の3つの帯水層の存在が確認できました。

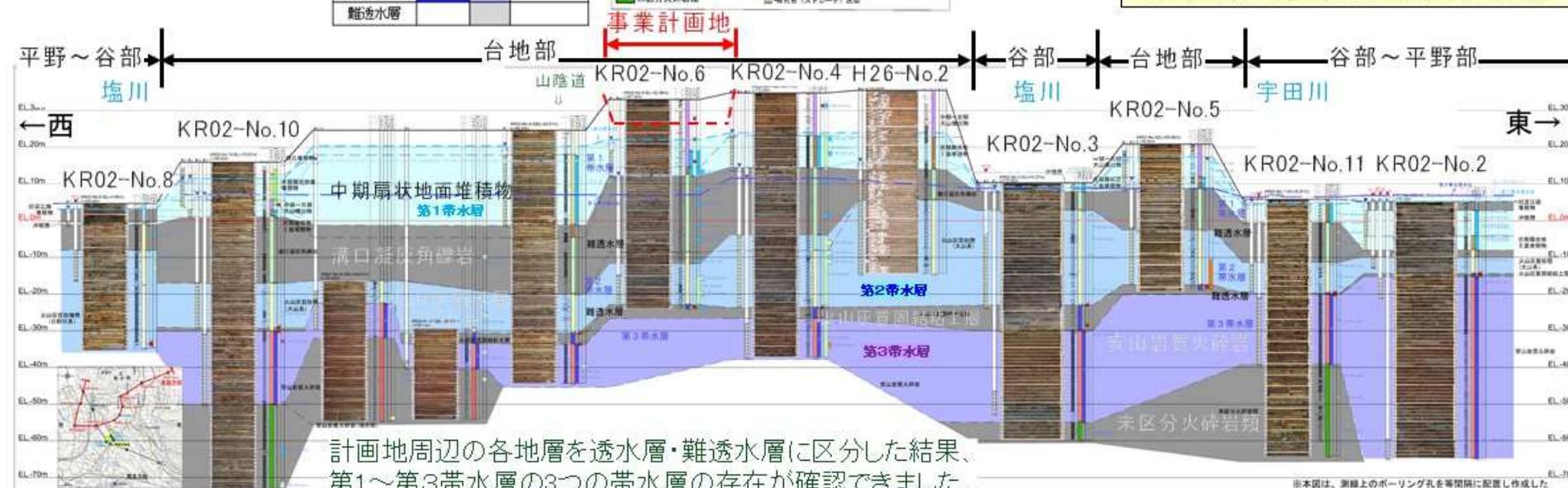
# 地質層序対比図・帯水層区分対比図

# 地質層序対比図(東西断面)



	柱状図	背景	水位線
第1帯水層			
第2帯水層			
第3帯水層			
難透水路			

# 帯水層区分対比図(東西断面)



計画地周辺の各地層を透水層・難透水路に区分した結果、第1～第3帯水層の3つの帯水層の存在が確認できました。

※本図は、測線上のボーリング孔を等間隔に配置し作成した。



## 水理地質断面図(断面2) 南北方向

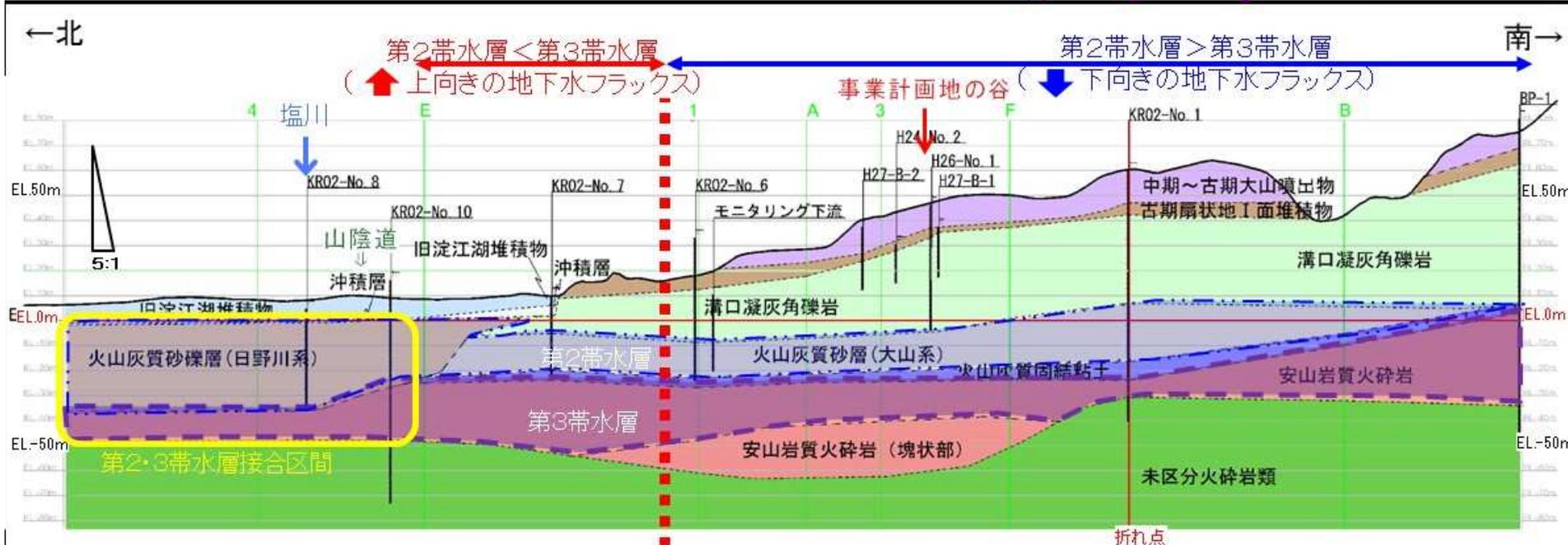
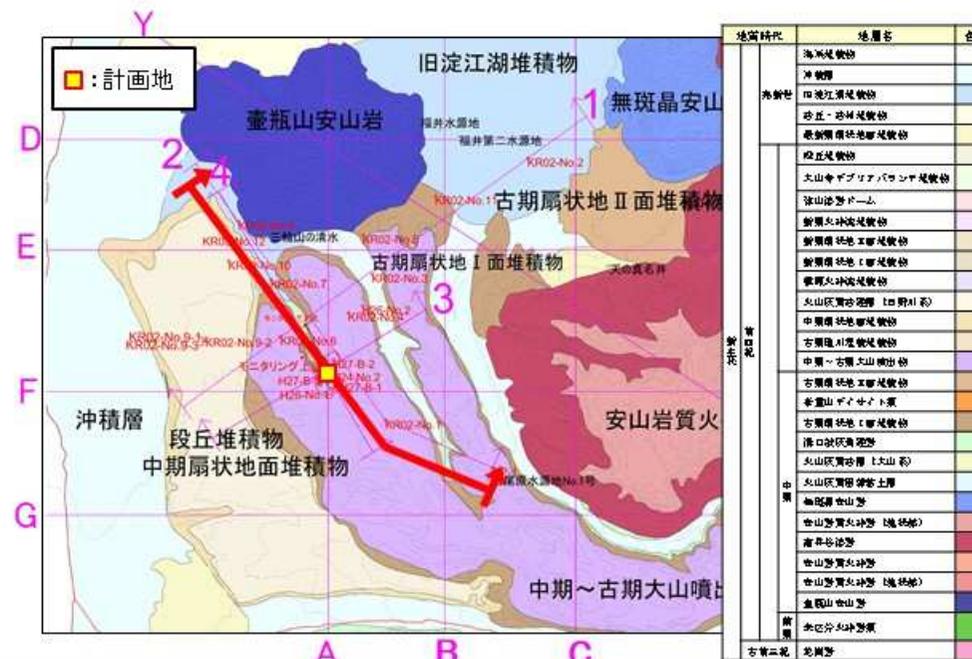
【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】

- ・第1: 台地部と谷地・平野部の水位差が大きい
- ・台地部・谷地部では地下水位が第2 > 第3 だが、塩川の谷の下流部では第2 < 第3と逆転している。つまり、台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックス、平野部では上向きの地下水フラックスが想定される。

- ▼ 第1帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第2帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第3帯水層水位(EL.m)

ボーリング孔番

- 第1帯水層水位(EL.m)
- 第2帯水層水位(EL.m)
- 第3帯水層水位(EL.m)

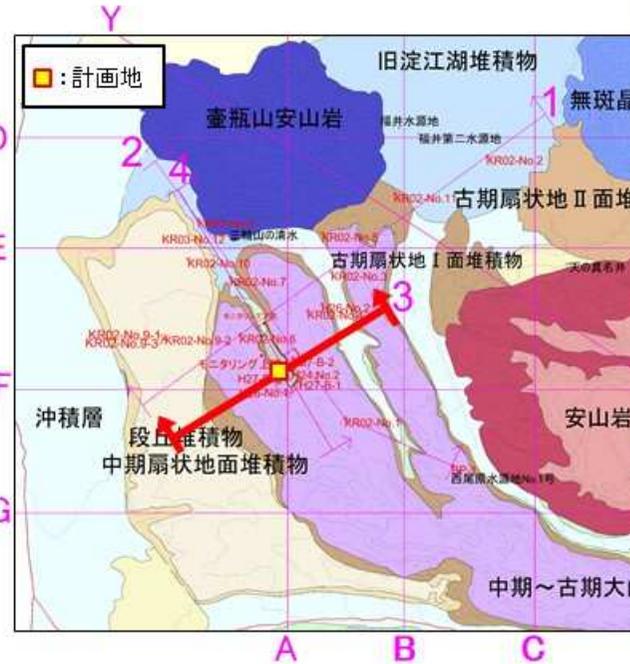


# 水理地質断面図(断面3)東西断面

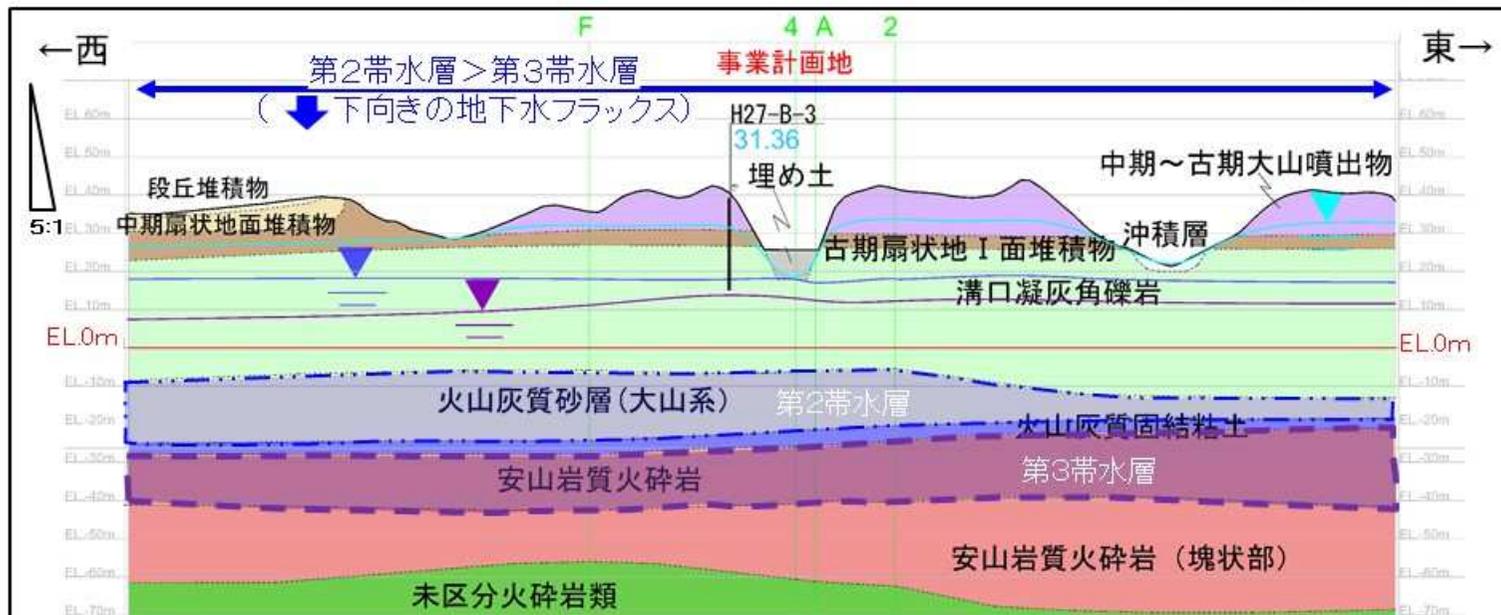
【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】  
 台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックスが想定される。

- ▽ 第1帯水層水位(EL.m)
- ▽ 第2帯水層水位(EL.m)
- ▽ 第3帯水層水位(EL.m)

- ボーリング孔番
- 第1帯水層水位(EL.m)
  - 第2帯水層水位(EL.m)
  - 第3帯水層水位(EL.m)



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山キデブリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地II面堆積物	
新世	新期扇状地I面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期扇状地III面堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地II面堆積物	
	孝聖山ダイサイト層	
	古期扇状地I面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土	
	壺瓶山安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	壺瓶山安山岩	
前期	未区分火砕岩類	
	花崗岩	



## 水理地質断面図(断面4※)南北断面

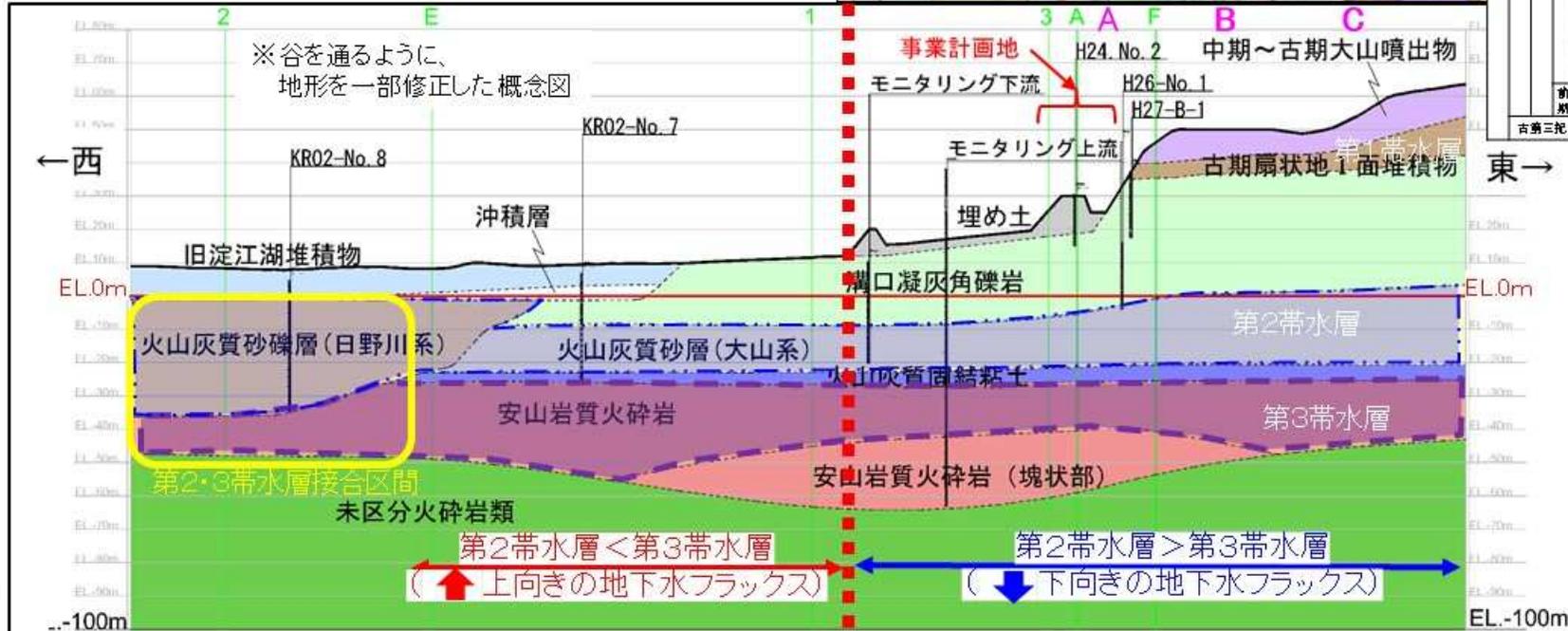
【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】  
 ・台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックス、淀江平野部では上向きの地下水フラックスが想定される。

- ▼ 第1帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第2帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第3帯水層水位(EL.m)

- ボーリング孔番
- 第1帯水層水位(EL.m)
  - 第2帯水層水位(EL.m)
  - 第3帯水層水位(EL.m)



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
新世	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山キデブリアバラランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地II面堆積物	
	新期扇状地I面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地II面堆積物	
	孝聖山サイト層	
古期扇状地I面堆積物		
中期	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂礫層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	厚斑岩安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
前期	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	壺瓶山安山岩	
古第三紀	水区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



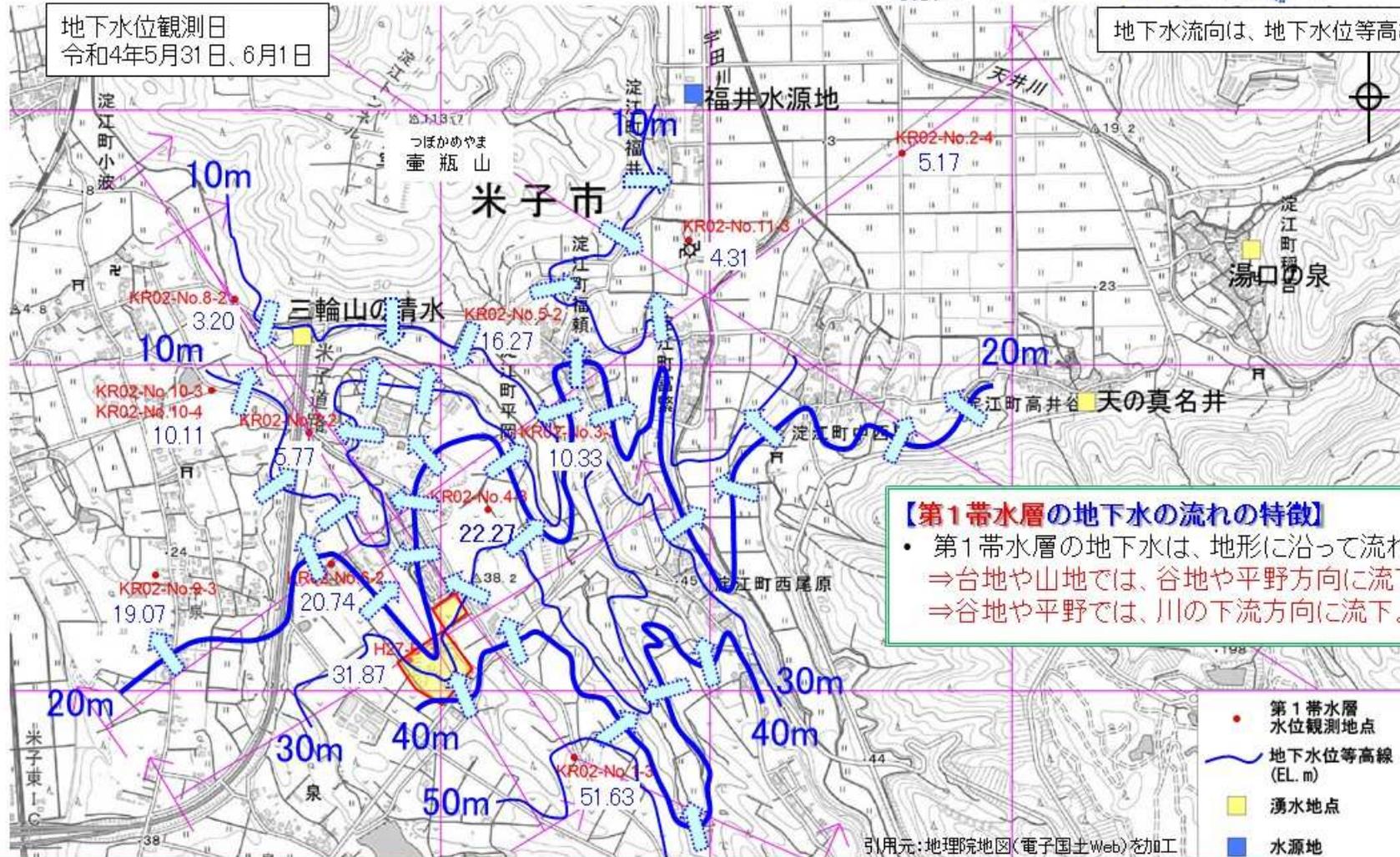
# 地下水位コンター図 第1帯水層

## 第1帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井戸)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



### 【第1帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第1帯水層の地下水は、地形に沿って流れる。  
⇒台地や山地では、谷地や平野方向に流下。  
⇒谷地や平野では、川の下流方向に流下。

### 【水源地・湧水地への第1帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 計画地の谷と福井水源地の間に複数の地下水の尾根があり、計画地の谷の第1帯水層の地下水は、直接、同水源地には向かわない。
- 【三輪山の清水】 三輪山の清水では、背後(北側)の壺瓶山から第1帯水層の地下水が流下する。計画地の谷の第1帯水層の地下水は、地形に沿って流下するので、同湧水には向かわない。

# 地下水位コンター図 第2帯水層

第2帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井戸)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



## 【第2帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第2帯水層の地下水は、地表の地形に影響されない。  
⇒地下の地質構造、地下水位に対応して、高い方から低い方に向かって流下。  
⇒壺瓶山の下部には分布しない。

## 【水源地・湧水地への第2帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の東側を回り込んで福井水源地に到達。
- 【三輪山の清水】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の西側を回り込んで三輪山の清水に到達。

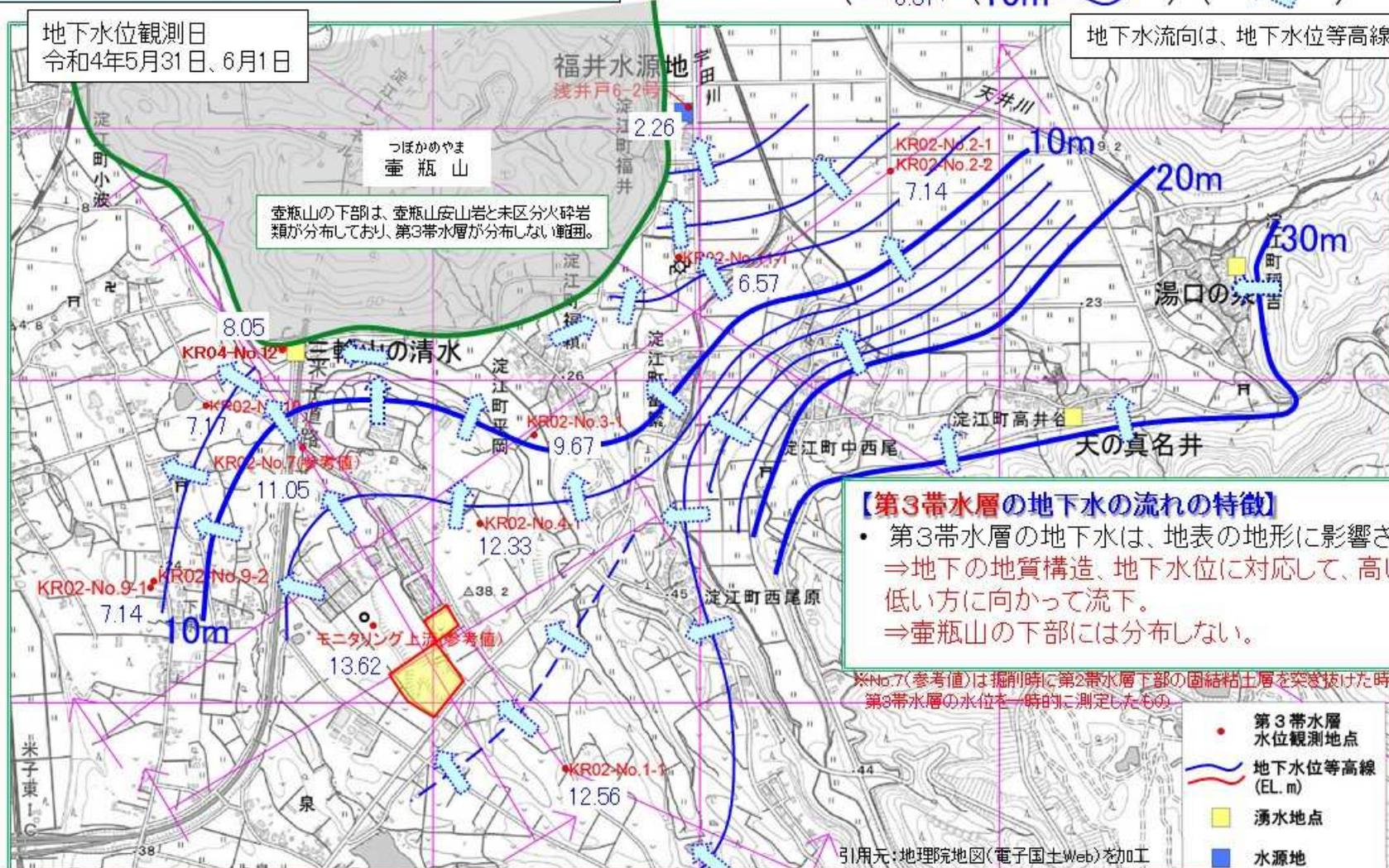
# 地下水位コンター図 第3帯水層

## 第3帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井戸)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



### 【第3帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第3帯水層の地下水は、地表の地形に影響されない。  
⇒地下の地質構造、地下水位に対応して、高い方から低い方に向かって流下。  
⇒壺瓶山の下部には分布しない。

※No.7(参考値)は掘削時に第2帯水層下部の固結粘土層を突き抜けた時の、第3帯水層の水位を一時的に測定したものの。

引用元:地理院地図(電子国土Web)を加工

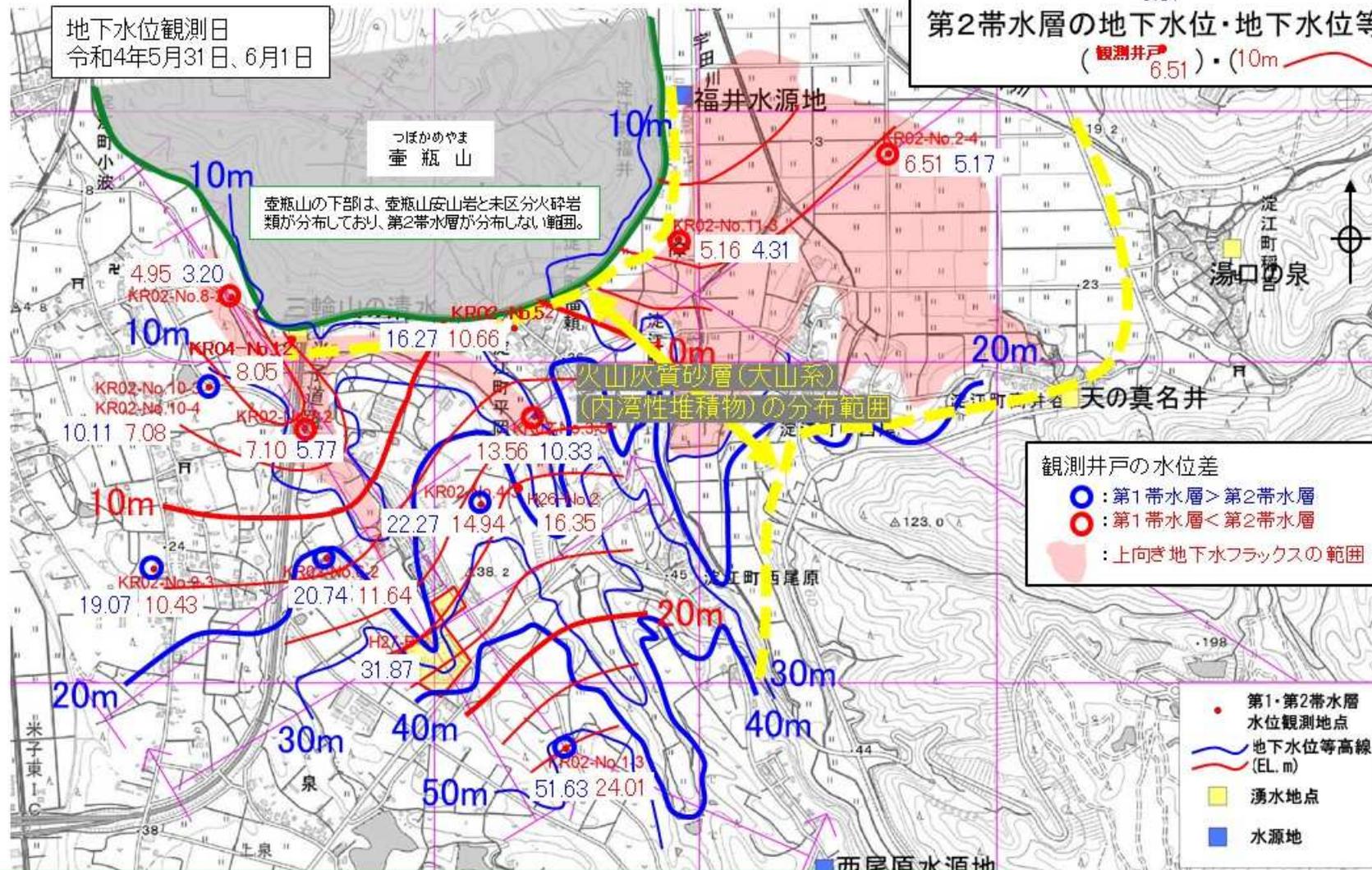
### 【水源地・湧水地への第3帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 計画地の東側～宇田川(本宮川)～天の真名井方向から供給された地下水が主体。
- 【三輪山の清水】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の西側を回り込んで三輪山の清水に到達。

# 地下水位コンター図 第1帯水層+第2帯水層

第1帯水層の地下水位・地下水位等高線  
 (観測井戸)・(10m)

第2帯水層の地下水位・地下水位等高線  
 (観測井戸)・(10m)



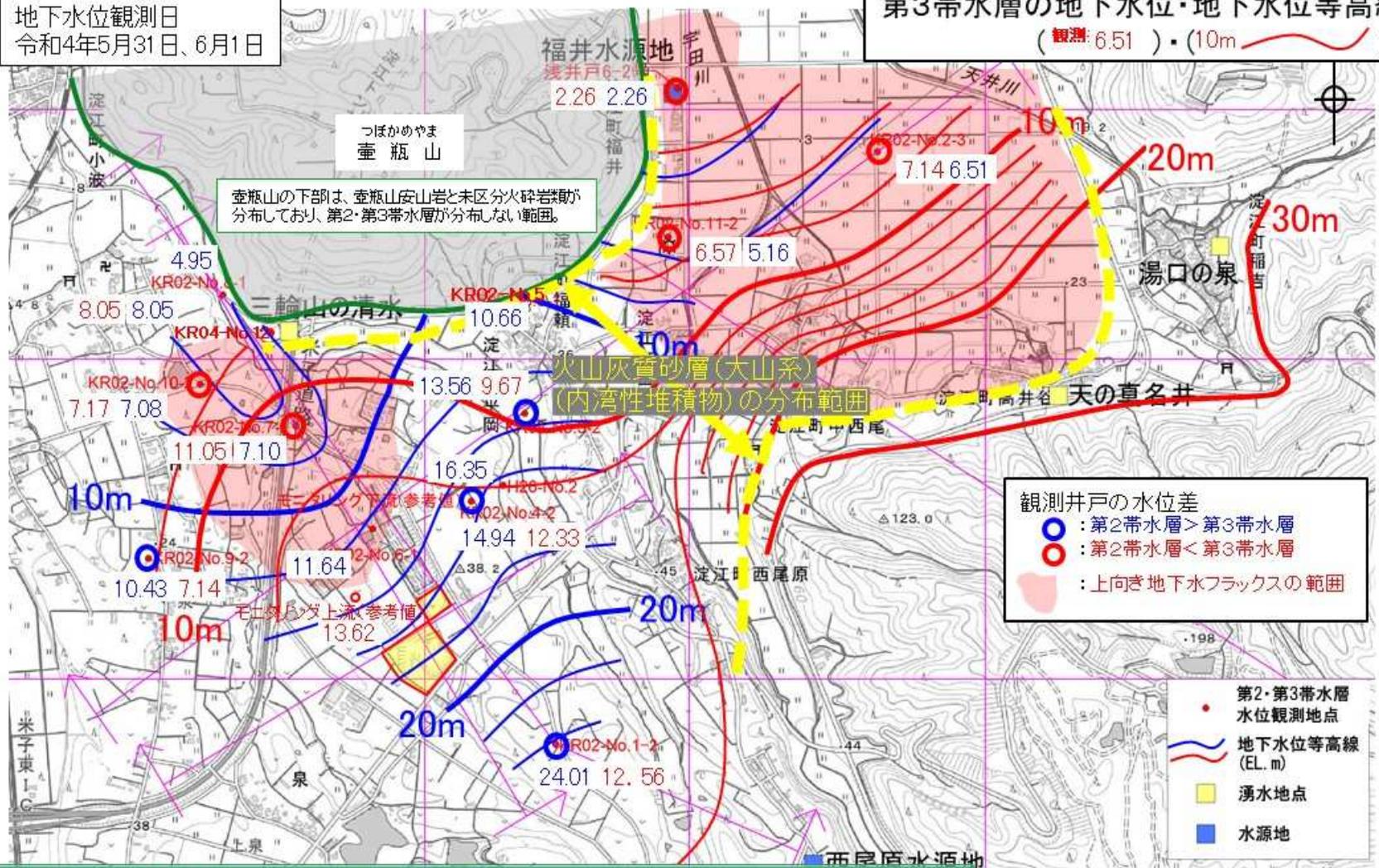
## 【第1帯水層と第2帯水層間の地下水位の上下関係と地下水の流れ】

- 【計画地の谷や塩川の谷:三輪山の清水周辺】【淀江平野:福井水源地周辺】の低地では、第1帯水層より第2帯水層の地下水位が上回り、第2帯水層の地下水が第1帯水層に向かう、上向きの地下水流向(フラックス)が存在する範囲を把握。

引用元:地理院地図(電子国土Web)を加工

# 地下水位コンター図 第2帯水層 + 第3帯水層

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日



第2帯水層の地下水位・地下水位等高線  
(観測井戸: 6.51)・(10m)

第3帯水層の地下水位・地下水位等高線  
(観測: 6.51)・(10m)

観測井戸の水位差

- : 第2帯水層 > 第3帯水層
- : 第2帯水層 < 第3帯水層
- : 上向き地下水フラックスの範囲

● 第2・第3帯水層  
水位観測地点

— 地下水位等高線  
(EL. m)

■ 湧水地点

■ 水源地

**【第2帯水層と第3帯水層間の地下水位の上下関係と地下水の流れ】**

- ・【計画地の谷や塩川の谷: 三輪山の清水周辺】【淀江平野: 福井水源地周辺】の低地では、第2帯水層より第3帯水層の地下水位が上回り、第3帯水層の地下水が第2帯水層に向かう、上向きの地下水流向(フラックス)が存在する範囲を把握。

引用元: 地理院地図(電子国土Web)を加工

## 河川流量観測 調査内容・地点

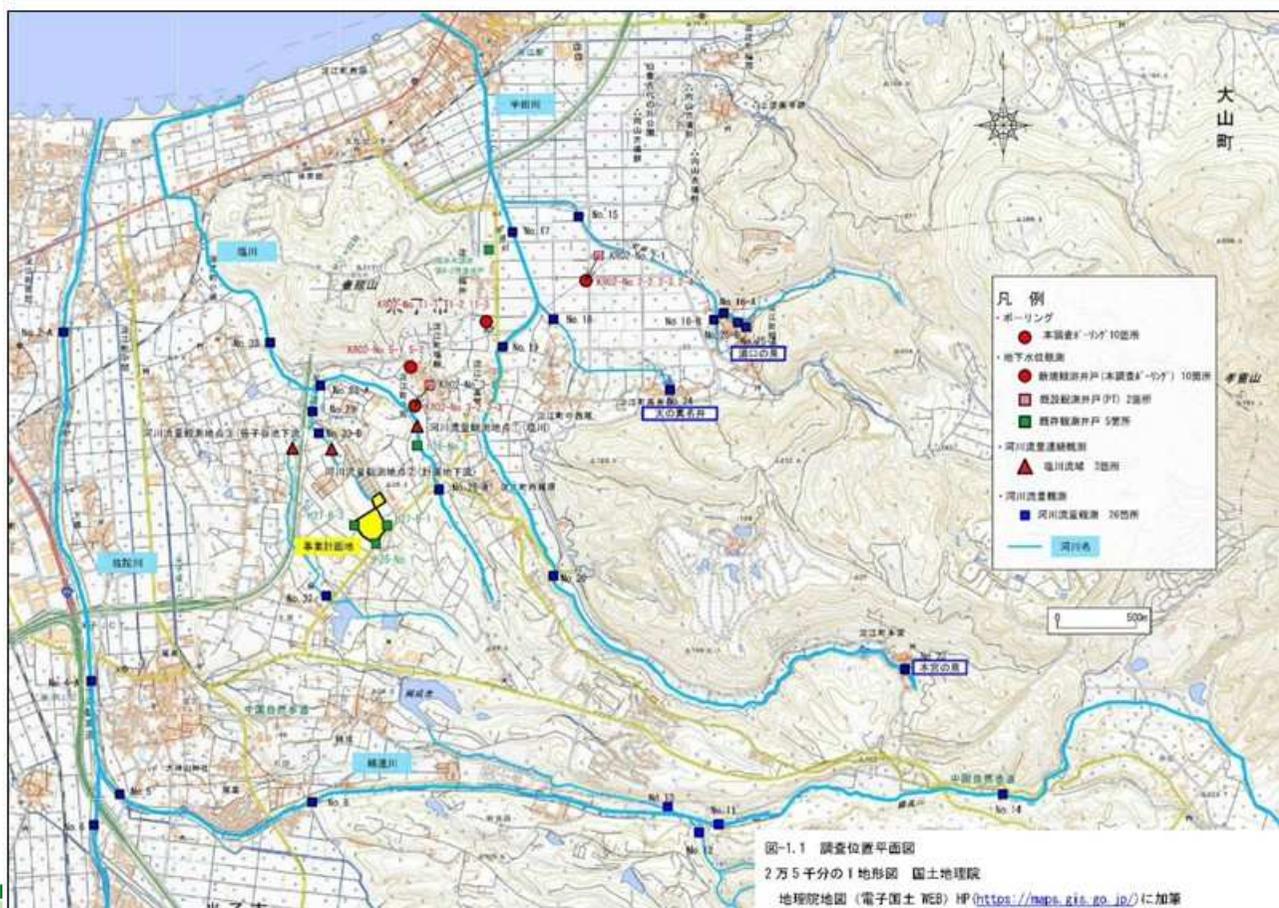
河川流量観測は解析範囲内の計29地点において、下記方法で実施した。

①自記水位計を用いた連続観測(三角四角堰を設置)・・・計3地点

⇒2020年11月～2021年11月(観測間隔は1時間)

②河川断面法または、容器法による実流量観測・・・計26地点

⇒低水期(2020年11月)に一斉観測を実施。



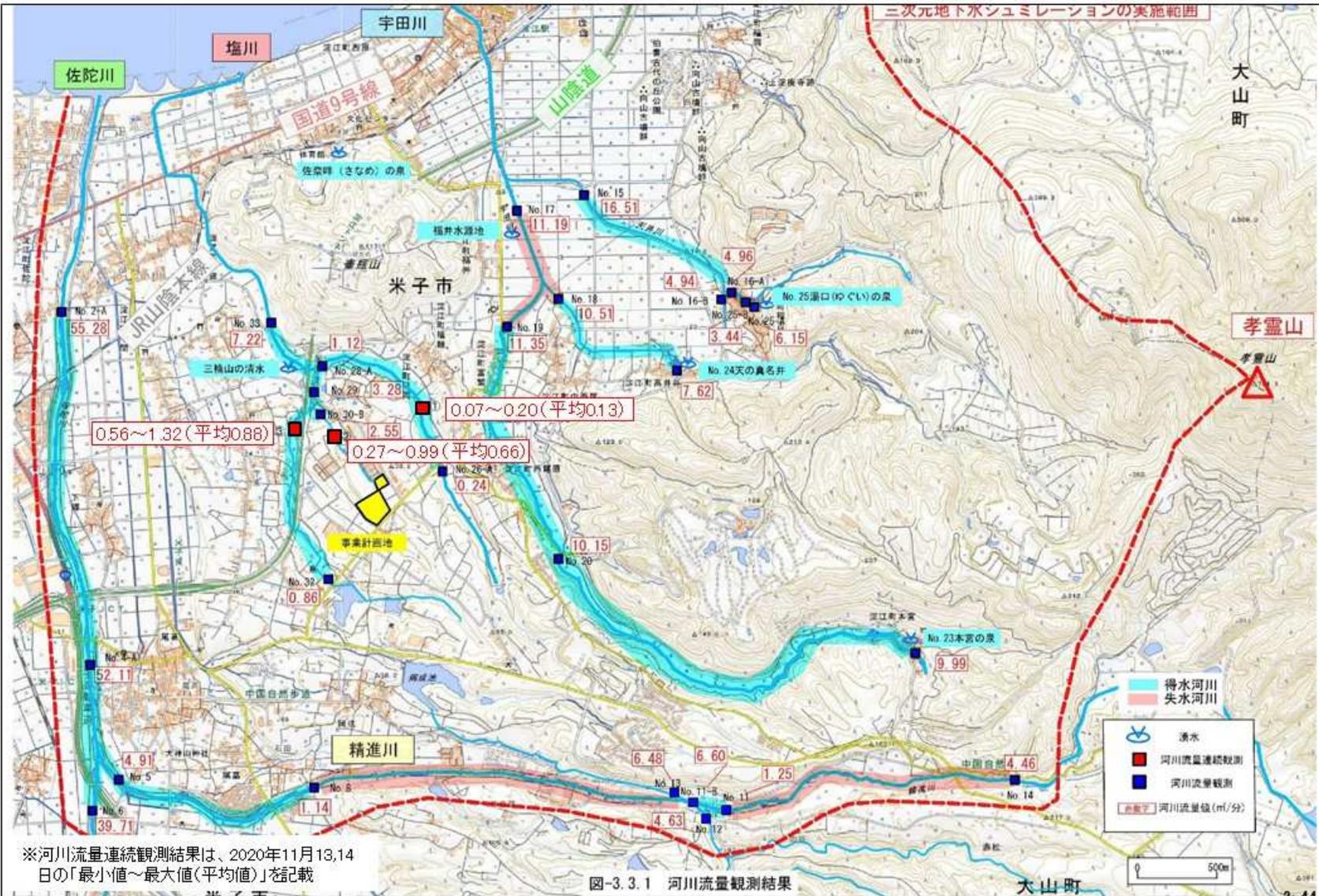
調査地点の状況  
観測地点②(計画地下流)

調査地点位置図

# 河川流量観測結果

河川流量観測実施日：2020年11月13,14日（低水期）

調査地全体としては、概ね上流から下流に向かい流量の増加が確認され、**得水河川**となる区間が多いが、**精進川、天井川上流部、宇田川の一部で失水河川**となる区間が認められる。



※河川流量連続観測結果は、2020年11月13,14日の「最小値~最大値(平均値)」を記載

図-3.3.1 河川流量観測結果